

# 2D イメージャスキャナ

## MS832

(MS832-7UCB00-SG、MS832-7KCB00-SG)

## ユーザーマニュアル



取扱説明書 日本語版

---

Version 2.0

## 改訂履歴

Version	発行日	改訂履歴
2.0	2016 年 12 月 6 日	● 再編成
2.1	2017 年 3 月 2 日	● <a href="#">デッドキー出力</a> の設定を追加

## 本マニュアルについて

本マニュアルは、2D イメージスキャナ MS832 のインストール、操作、そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社からの書面による許可なしで、いかなる形式でも、電子的あるいは機械的を問わず複製することはできません。これは、フォトコピー、レコーディング、あるいは情報の保存と検索システム等の電氣的もしくは機械的な方法を含んでいます。

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©Copyright 2016 Unitech Electronics Co., Ltd. すべての著作権は Unitech 社が保有しています。

Unitech グローバル Web サイトアドレス: <http://www.ute.com>

ユニテック・ジャパン Web サイトアドレス: <http://jp.ute.com>

## 各認証について

### 電波障害自主規制

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCC I-B

### RoHS について



本装置は欧州連合の規定である電子機器で使用される有害物質の含有についての制限（Reduction Of Hazardous Sub-stances、RoHS）に適合しております。

## LED 情報

ユニテック製品には、通常の操作、ユーザーのメンテナンスまたは所定のサービス操作中に、人の目に有害でない輝度の LED インジケータまたは LED リングが含まれています。

注 LED 情報は、LED 部品を搭載した製品にのみ適用されます。

## 保証期間

当社の保証は、以下の保証期間中に通常の使用状況で発生した故障に対して適用されます。

- スキャナ本体 — 1 年間
- その他アクセサリ類 — 3 ヶ月

保証は、機器の改造、不適切な取付や使用、事故または不注意による落下等における損傷、あるいは何らかのパーツが不適切に取り付けられていたり、もしくはユーザーによってパーツを交換されていたりした場合は対象外となります。

付属または当社製のアダプタのみ使用してください。間違ったアダプタを使用すると、機器に損傷を与えるだけでなく保証も無効になります。

# 目次

1. パッケージ情報.....	12
2. 各部詳細.....	13
3. はじめて使用する .....	14
USB ケーブル.....	14
PS/2 キーボードウェッジケーブル .....	15
バーコードの読取り .....	15
4. LED 表示 .....	16
5. 日本語を含んだ QR コードの読取り .....	16
6. 仕様 .....	17
7. 設定一覧.....	19
8. 設定メニュー .....	26
8.1. 設定方法について .....	26
8.2. システム設定.....	27
カスタムデフォルトの設定 .....	27
カスタムデフォルトの起動 .....	27
カスタムデフォルトの削除（工場出荷デフォルト） .....	28
デコーダバージョンの表示 .....	28
スキャンドライババージョンの表示 .....	28
ソフトウェアバージョンの表示.....	28
データ編集の表示.....	29
テストメニュー.....	29
8.3. インターフェース設定.....	30
キーボードウェッジ .....	30
ラップトップ PC との直接接続.....	30
USB IBM SurePos.....	31
USB PC またはマッキントッシュキーボード .....	32
USB HID .....	32
USB 仮想 COM エミュレーション（USB シリアル） .....	33
CTS/RTS エミュレーション .....	33
ACK/NAK モード.....	33
キーボードレイアウト .....	34
キーボードスタイル .....	43
大文字・小文字変換 .....	44
制御文字出力 .....	44
キーボード出力の変更 .....	45
デッドキー出力.....	47

<b>8.4. 入出力設定 .....</b>	<b>48</b>
電源投入時のビープ音 .....	48
[BEL]文字とビープ音 .....	48
トリガークリック音 .....	49
読取り成功とエラーの表示 .....	50
ビープ音 鳴動（読取り成功） .....	50
ビープ音 音量（読取り成功） .....	50
ビープ音 音程（読取り成功） .....	51
ビープ音 音程（エラー） .....	51
ビープ音 鳴動時間（読取り成功） .....	52
LED 明滅（読取り成功） .....	52
ビープ音 鳴動回数（読取り成功） .....	52
ビープ音 鳴動回数（エラー） .....	53
読取り遅延 .....	53
ユーザー定義の読取り遅延 .....	54
マニュアルトリガーモード .....	55
LED 照明（マニュアルトリガーモード） .....	55
マニュアルトリガーセンタリング .....	56
プレゼンテーションモード .....	58
プレゼンテーション感度 .....	58
プレゼンテーションセンタリング .....	59
電子ディスプレイ読取りモード .....	61
ハンドフリータイムアウト .....	61
二重読取り遅延 .....	62
ユーザー定義の二重読取り遅延 .....	62
「読取なし」メッセージ .....	63
反転バーコードの読取 .....	63
読取り方向 .....	64
<b>8.5. プリフィックス/サフィックス .....</b>	<b>65</b>
プリフィックス/サフィックスの概要 .....	65
留意点 .....	65
プリフィックスまたはサフィックスの追加 .....	66
例：特定のシンボルにサフィックスを追加する .....	66
1つまたはすべてのサフィックスを消去する .....	67
すべてのシンボルに CR サフィックスを追加する .....	67
プリフィックス .....	67
サフィックス .....	68
機能コード送信 .....	68
<b>8.6. 文字間、機能間、データ間遅延 .....</b>	<b>69</b>
文字間遅延 .....	69
ユーザー定義の文字間遅延 .....	70
機能間遅延 .....	70
データ間遅延 .....	71

<b>8.7. データ編集 .....</b>	<b>72</b>
データ編集の概要.....	72
データ編集の作成.....	73
データ編集の消去.....	74
ターミナル ID テーブル .....	75
データ編集コマンド .....	75
送信コマンド.....	75
移動コマンド.....	76
検索コマンド.....	76
その他のコマンド .....	77
データフォーマッター .....	78
基本/代替編集フォーマット .....	79
設定例：QR コードの 4 文字目から 4 文字を送信する .....	80
設定例：すべてのカンマ (,) を TAB に変換する .....	81
<b>8.8. バーコードシンボル設定 .....</b>	<b>82</b>
全てのシンボル.....	82
可読桁数について.....	82
Codabar (NW7) .....	83
Codabar 初期化.....	83
Codabar 読取り有効/無効.....	83
Codabar スタート/ストップ文字.....	83
Codabar チェックデジット .....	84
Codabar シンボル連結.....	85
Codabar 連結タイムアウト .....	85
Codabar 可読桁数.....	86
Code 39 .....	87
Code 39 初期化.....	87
Code 39 読取り有効/無効.....	87
Code 39 スタート/ストップ文字.....	87
Code 39 チェックデジット .....	88
Code 39 可読桁数.....	88
Code 39 シンボル連結.....	89
Code 39 フル ASCII .....	90
Interleaved 2 of 5 (ITF) .....	91
Interleaved 2 of 5 初期化.....	91
Interleaved 2 of 5 読取り有効/無効.....	91
Interleaved 2 of 5 チェックデジット .....	92
Interleaved 2 of 5 可読桁数.....	92
NEC 2 of 5 (COOP 2 of 5 または 生協コード) .....	93
NEC 2 of 5 初期化.....	93
NEC 2 of 5 読取り有効/無効 .....	93
NEC 2 of 5 チェックデジット .....	94
NEC 2 of 5 可読桁数.....	94
Code 93 .....	95

Code 93 初期化 .....	95
Code 93 読取り有効/無効 .....	95
Code 93 可読桁数 .....	95
Code 93 シンボル連結 .....	96
Industrial 2 of 5 .....	97
Industrial 2 of 5 初期化 .....	97
Industrial 2 of 5 読取り有効/無効 .....	97
Industrial 2 of 5 可読桁数 .....	97
IATA 2 of 5 .....	98
IATA 2 of 5 初期化 .....	98
IATA 2 of 5 読取り有効/無効 .....	98
IATA 2 of 5 可読桁数 .....	98
Matrix 2 of 5 .....	99
Matrix 2 of 5 初期化 .....	99
Matrix 2 of 5 読取り有効/無効 .....	99
Matrix 2 of 5 可読桁数 .....	99
Code 128 .....	100
Code 128 初期化 .....	100
Code 128 読取り有効/無効 .....	100
ISBT 128 シンボル連結 .....	100
Code 128 可読桁数 .....	101
Code 128 シンボル連結 .....	101
GS1-128 .....	102
GS1-128 初期化 .....	102
GS1-128 読取り有効/無効 .....	102
GS1-128 可読桁数 .....	102
UPC-A .....	103
UPC-A 初期化 .....	103
UPC-A 読取り有効/無効 .....	103
UPC-A チェックデジット .....	103
UPC-A ナンバーシステム .....	104
UPC-A アドオンコード .....	104
UPC-A アドオンコードの要求 .....	105
UPC-A アドオンコードセパレータ .....	105
拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 .....	106
クーポン GS1 DataBar 出力 .....	106
UPC-E .....	107
UPC-E 初期化 .....	107
UPC-E0 読取り有効/無効 .....	107
UPC-E1 読取り有効/無効 .....	107
UPC-E 拡張 .....	108
UPC-E チェックデジット .....	108
UPC-E ナンバーシステム .....	108
UPC-E アドオンコード .....	109
UPC-E アドオンコードの要求 .....	109




UPC-E アドオンコードセパレータ .....	110
EAN/JAN-13 .....	111
EAN/JAN-13 初期化 .....	111
EAN/JAN-13 読取り有効/無効 .....	111
EAN/JAN-13 チェックデジット .....	111
EAN/JAN-13 アドオンコード .....	112
EAN/JAN-13 アドオンコードの要求 .....	112
EAN/JAN-13 アドオンコードセパレータ .....	113
ISBN 変換 .....	113
EAN/JAN-8 .....	114
EAN/JAN-8 初期化 .....	114
EAN/JAN-8 読取り有効/無効 .....	114
EAN/JAN-8 チェックデジット .....	114
EAN/JAN-8 アドオンコード .....	115
EAN/JAN-8 アドオンコードの要求 .....	115
EAN/JAN-8 アドオンコードセパレータ .....	116
MSI .....	117
MSI 初期化 .....	117
MSI 読取り有効/無効 .....	117
MSI チェックデジット .....	118
MSI 可読桁数 .....	119
GS1 DataBar Omnidirectional .....	120
GS1 DataBar Omnidirectional 初期化 .....	120
GS1 DataBar Omnidirectional 読取り有効/無効 .....	120
GS1 DataBar Limited .....	121
GS1 DataBar Limited 初期化 .....	121
GS1 DataBar Limited 読取り有効/無効 .....	121
GS1 DataBar Expanded .....	122
GS1 DataBar Expanded 初期化 .....	122
GS1 DataBar Expanded 読取り有効/無効 .....	122
GS1 DataBar Expanded 可読桁数 .....	122
Codablock A .....	123
Codablock A 初期化 .....	123
Codablock A 読取り有効/無効 .....	123
Codablock A 可読桁数 .....	123
Codablock F .....	124
Codablock F 初期化 .....	124
Codablock F 読取り有効/無効 .....	124
Codablock F 可読桁数 .....	124
PDF417 .....	125
PDF417 初期化 .....	125
PDF417 読取り有効/無効 .....	125
PDF417 可読桁数 .....	125
マクロ PDF417 読取り有効/無効 .....	126
MicroPDF417 .....	127

MicroPDF417 初期化.....	127
MicroPDF417 読取り有効/無効.....	127
MicroPDF417 可読桁数.....	127
GS1 合成シンボル (CC-A、CC-B、CC-C) .....	128
GS1 合成シンボル 読取り有効/無効.....	128
UPC/EAN バージョン.....	128
GS1 合成シンボル 可読桁数.....	129
GS1 エミュレーション.....	130
TCIF Linked Code39 (TLC39) の読取り有効/無効.....	131
QR コード.....	132
QR コード 初期化.....	132
QR コード 読取り有効/無効.....	132
QR コード 可読桁数.....	132
QR コード シンボル連結.....	133
Data Matrix.....	134
Data Matrix 初期化.....	134
Data Matrix 読取り有効/無効.....	134
Data Matrix 可読桁数.....	134
Aztec コード.....	135
Aztec コード 初期化.....	135
Aztec コード 読取り有効/無効.....	135
Aztec コード 可読桁数.....	135
Aztec コード シンボル連結.....	136
Han Xin コード.....	137
Han Xin コード 初期化.....	137
Han Xin コード 読取り有効/無効.....	137
Han Xin コード 可読桁数.....	137
郵便コード (1 次元) .....	138
China Post (Hong Kong 2 of 5) 初期化.....	138
China Post (Hong Kong 2 of 5) 読取り有効/無効.....	138
China Post (Hong Kong 2 of 5) 可読桁数.....	138
Korea Post 初期化.....	139
Korea Post 読取り有効/無効.....	139
Korea Post 可読桁数.....	139
Korea Post チェックデジット.....	140
<b>9. シリアルプログラミングコマンド.....</b>	<b>141</b>
<b>本項目内の語句.....</b>	<b>141</b>
<b>メニューコマンドの構文.....</b>	<b>141</b>
<b>問合せコマンド.....</b>	<b>142</b>
タグフィールドでの使用法.....	142
サブタグフィールドでの使用法.....	142
データフィールドでの使用法.....	142
複数のコマンドを連結する.....	142

スキャナからの応答 .....	142
コマンドの組み合わせ例 .....	143
メニューコマンド .....	144
10. シンボルチャート .....	159
1 次元シンボル .....	159
2 次元シンボル .....	160
郵便シンボル .....	161
11. ASCII 変換チャート（コードページ 1252） .....	162
12. ISO 2022/ISO 646 文字コード変換 .....	167
13. プログラミングチャート .....	169

# 1. パッケージ情報

## 標準パッケージに含まれるもの

		
スキャナ本体	USB ケーブル	キーボードウェッジ ケーブル
		
クイックガイド	保証書	ユーザー登録カード

注 モデルによってUSB ケーブルまたはキーボードウェッジケーブルが付属しています。

注 USB ケーブルまたはキーボードウェッジケーブルは、通常接続された状態で出荷されます。

## オプション（別売）


ハンドフリースタンド (5200-900003G)

## 2. 各部詳細



### 3. はじめて使用する

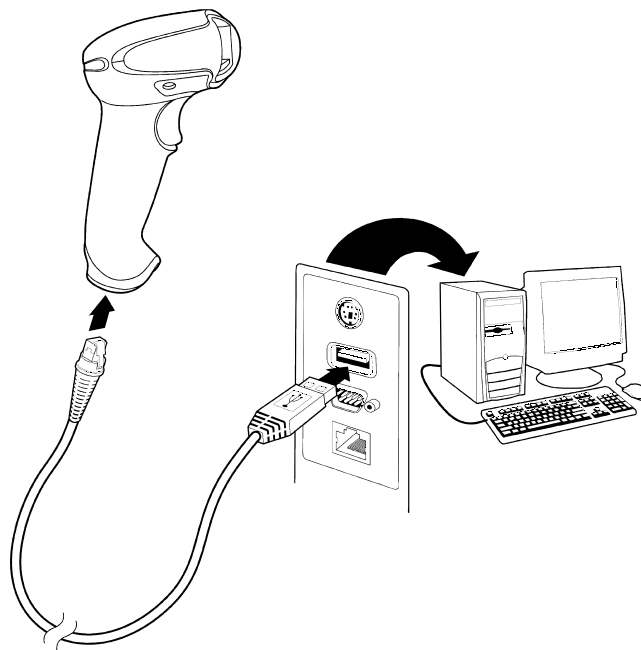
#### USB ケーブル

はじめてスキャナを使用する場合は、付属の USB ケーブルとスキャナ本体を接続してください。通常、スキャナと USB ケーブルは接続された状態で出荷されているため、ほとんどの場合、この作業は必要ありません。

次に、スキャナの USB コネクタと、ホスト PC の USB ポートまたは電源付き USB ハブを接続します。スキャナの電源は、USB ポートから供給されるため、外部電源は必要ありません。

スキャナをホスト PC に接続し、スキャナが起動すると、自動的にドライバがインストールされ使用可能な状態になります。

注 日本語を含んだ QR コードを読み取って正常に出力するためには、インターフェースの変更と専用ドライバのインストールおよび専用アプリケーションによるデータの読み込みが必要です。[日本語を含んだ QR コードの読取り \(16 ページ\)](#) をご覧ください。



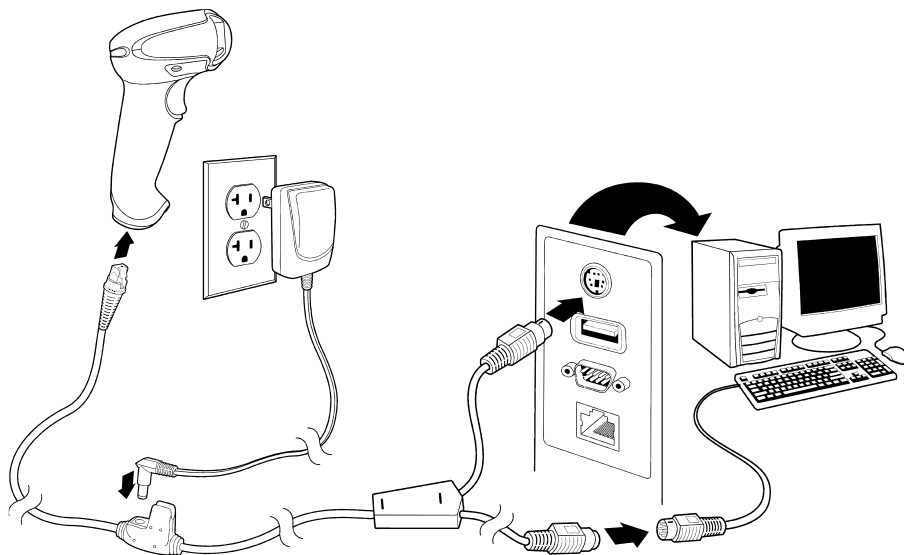
## PS/2 キーボードウェッジケーブル

はじめてスキャナを使用する場合は、付属のキーボードウェッジケーブルとスキャナ本体を接続してください。通常、スキャナとキーボードウェッジケーブルは接続された状態で出荷されているため、ほとんどの場合、この作業は必要ありません。

次に、ホスト PC をシャットダウンした状態で、スキャナの PS/2 コネクタをキーボードとホスト PC の PS/2 コネクタに接続します。スキャナの電源は、PS/2 ポートから供給されるため、外部電源は必要ありません。

ホスト PC の電源を入れ、スキャナが起動すると使用可能な状態になります。

**注** キーボードウェッジケーブルで接続している場合は、日本語を含んだ QR コードを読み取っても正常に出力することはありません。日本語含んだ QR コードを正常に出力するには USB ケーブルでの接続と専用の設定が必要です。



## バーコードの読取り

スキャナはバーコードの中央部に重ねるための照準を照射していますが、読み取りやすくするために任意の向きに配置することができます。

トリガーボタンを押しながら、照準をバーコードへ重ねてください。

照準は、スキャナがバーコードに近い場合は小さくなり、バーコードから遠い場合は大きくなります。最適な読取り結果を得るために、バーコードが小さいときはスキャナを近づけ、バーコードが大きいたときはスキャナを離します。

もしも、バーコードが高反射タイプ（ラミネート加工など）の場合には、バーコードを読取ることができないような角度にスキャナを傾ける必要があるかもしれません。



**注** 多くのコンピュータモニタでは、モニタ上に表示させたバーコードを直接読取ることができます。モニタ上に表示されたバーコードを読取るためには、画面を明るくしてバーコードがはっきりと見えるように拡大してから読取ってください。拡大率などはモニタの仕様によります。

## 4. LED 表示

緑の LED ランプは正常を示し、赤の LED ランプは異常を示します。ただし、トリガーボタンを押している間、赤の LED ランプが点灯し続けますがこれは正常な動作です。

## 5. 日本語を含んだ QR コードの読取り

日本語を含んだ QR コードの読取りを行い、正しく出力するには **USB 仮想 COM モード**での接続と、ホスト PC 側にシリアルポートからデータを受信するためのアプリケーションが必要です。

シリアルポートからデータを受信するためのアプリケーションをご準備頂けないユーザーのために、**RSWedge Unitech 版**を弊社より無償で提供しております。**RSWedge Unitech 版**の対応 OS は **Windows XP/Vista/7/8/8.1/10 の 32bit または 64bit** です。

- 注 USB 仮想 COM モードでの接続には別途ドライバのインストールが必要です。インストール方法については、弊社 Web よりダウンロード可能な専用ドキュメント『USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアル』をご覧ください。
- 注 RSWedge Unitech 版を必要な方は、弊社 Web ページよりダウンロード可能な専用ドキュメント『USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアル』をご覧ください。
- 注 ご利用予定のアプリケーションがシリアル通信に対応している場合、RSWedge Unitech 版を使用しないでください。シリアルポートは、2 つ以上のアプリケーションから同時にアクセスすることはできません。シリアルポートの取り合いになって正常に動作しない場合があります。
- 注 Mac OS については OS 標準の CDC ドライバでの接続が可能で、シリアル通信アプリケーションをご自身でご準備頂ける場合は対応可能です。事前の動作確認は必ず行ってください。



## 6. 仕様

### 光学性能

受光素子	CMOS センサ 解像度 640×480 ピクセル
光源（照明&照準）	白色 LED（照明）、617nm 赤色 LED（照準）
環境光	0 ～ 100,000 lux（真っ暗闇から太陽光下）
モーショントレランス （対象の動作許容範囲）	100 mm/秒（4 インチ/秒）以下 0.33 mm（13 mil）の UPC コードを最適な焦点位置で
チルト角度	360°
スキュー角度	60°
ピッチ角度	70°
PCS （バーコードのコントラスト）	35% 最小印刷コントラスト比

### 被写界深度（PCS=80%）

シンボル	近い	遠い
100% UPC	36 mm	261 mm
0.127 mm（5 mil） Code 39	42 mm	111 mm
0.508 mm（20 mil） Code 39	41 mm	361 mm
0.17 mm（6.7 mil） PDF417	41 mm	106 mm
0.254 mm（10 mil） Data Matrix	41 mm	111 mm
0.381 mm（15 mil） Data Matrix	30 mm	170 mm
0.508 mm（20 mil） QR コード	31 mm	211 mm

注 バーコードの品質や環境条件によって影響を受ける可能性があります。

### 動作仕様

寸法	170 × 66 × 85 mm
重量	120 g、ケーブル除く
動作電圧	DC 4 – 5.5V
消費電流	動作： 2W、400 mA@5V 定格 スタンバイ： 0.45W、90 mA@5V 定格
インターフェース	USB、USB 仮想 COM、キーボードウェッジ
動作モード	マニュアルトリガーモード、プレゼンテーションモード

## 対応シンボル

1 次元	Codabar (NW7)、Code 39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、NEC 2 of 5 (生協コード)、Code 93、Industrial 2 of 5、IATA 2 of 5、Matrix 2 of 5、Code 128、GS1-128、UPC-A、UPC-E0 および E1、EAN/JAN-13、EAN/JAN-8、MSI、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、
2 次元スタック	Codablock A、Codablock F、PDF417、Micro PDF417、GS1 合成コード (CC-A、CC-B、CC-C)
2 次元マトリックス	QRCode、Micro QR Code、Data Matrix、Aztec Code、Han Xin Code
郵便コード (1 次元)	China Post (Hong Kong 2 of 5)、Korea Post

## 環境仕様

機械的衝撃	1.0 メートル高からコンクリート床 (スキャナのみ)
防塵・防水 (IP レート)	IP40
動作温度範囲	0℃ から 40℃
保管温度範囲	-40℃ から 60℃
相対湿度	5% - 95% (結露なきこと)

注 機械的衝撃の値は、弊社テスト基準に基づく落下試験における実験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。

## 認証

認証	CE、FCC、BSMI
EMI	VCCI クラス B

## 7. 設定一覧

設定項目	標準値	掲載ページ
インターフェース	USB キーボード (PC)	32
キーボードレイアウト	アメリカ	34
キーボードスタイル	レギュラー	43
大文字・小文字変換	変換しない	44
制御文字出力	無効	44
キーボード出力	Control + ASCII モード無効	45
ターボモード	無効	46
テンキーモード	無効	46
自動直接接続モード	無効	46
デッドキー出力	無効	47
電源投入時のピープ音	有効	48
[BEL]文字とピープ音	[BEL]文字を使用しない	48
トリガークリック音	無効	49
読取り成功		
ピープ音 鳴動	有効	50
ピープ音 音量	大	50
ピープ音 音程	中 (2400 Hz)	51
ピープ音 鳴動時間	標準	52
ピープ音 鳴動回数	1 回	52
LED 明滅	有効	52
エラー		
ピープ音 音程	低 (250 Hz)	51
ピープ音 鳴動回数	1 回	53
読取り遅延	遅延無し	53
マニュアルトリガーモード	有効	55
LED 照明	とても明るい	55
センタリング	無効	56

## 設定一覧（続き）

設定項目	標準値	掲載ページ
プレゼンテーションモード	無効	58
感度	未設定	58
センタリング	無効	59
ハンドフリータイムアウト	5,000 ミリ秒	61
電子ディスプレイ読取り	未設定	61
二重読取り遅延	750 ミリ秒	62
「読取なし」メッセージ	無効	63
反転バーコードの読取り	反転無効	63
読取り方向	正面 0°	64
プリフィックス	未設定	65
サフィックス	未設定	65
機能コード送信	有効	68
文字間遅延	未設定	69
機能間遅延	未設定	70
データ間遅延	未設定	71
データ編集	未設定	72

## バーコードシンボル設定

設定項目	標準値	掲載ページ
Codabar (NW7)		
読取り	有効	83
スタート/ストップ文字	送信しない	83
チェックデジット	検査しない	84
シンボル連結	無効	85
連結タイムアウト	800 ミリ秒	85
可読桁数	4 桁～60 桁の範囲	86

## 設定一覧（続き）

バーコードシンボル設定（続き）		
設定項目	標準値	掲載ページ
Code39		
読取り	有効	87
スタート/ストップ文字	送信しない	87
チェックデジット	検査しない	88
可読桁数	0 桁～48 桁の範囲	88
シンボル連結	無効	89
フル ASCII	無効	90
Interleaved 2 of 5 (ITF)		
読取り	有効	91
チェックデジット	検査しない	92
可読桁数	4 桁～80 桁の範囲	92
NEC 2 of 5（生協コード）		
読取り	有効	93
チェックデジット	検査しない	94
可読桁数	4 桁～80 桁の範囲	94
Code 93		
読取り	有効	95
可読桁数	0 桁～80 桁の範囲	95
シンボル連結	無効	96
Industrial 2 of 5		
読取り	無効	97
可読桁数	4 桁～48 桁の範囲	97
IATA 2 of 5		
読取り	無効	98
可読桁数	4 桁～48 桁の範囲	98

## 設定一覧（続き）

バーコードシンボル設定（続き）		
設定項目	標準値	掲載ページ
Matrix 2 of 5		
読取り	無効	99
可読桁数	4 桁～80 桁の範囲	99
Code 128		
読取り	有効	100
ISBT 128 シンボル連結	無効	100
可読桁数	0 桁～80 桁の範囲	101
シンボル連結	有効	101
GS1-128		
読取り	有効	102
可読桁数	1 桁～80 桁の範囲	102
UPC-A		
読取り	有効	103
チェックデジット	送信する	103
ナンバーシステム	送信する	104
アドオンコード	無効	104
アドオンコード要求	要求しない	105
アドオンコードセパレータ	有効	105
拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13	無効	106
クーポン GS1 DataBra 出力	無効	106

## 設定一覧（続き）

バーコードシンボル設定（続き）		
設定項目	標準値	掲載ページ
UPC-E		
UPC-E0 読取り	有効	<a href="#">107</a>
UPC-E1 読取り	無効	<a href="#">107</a>
拡張	拡張しない	<a href="#">108</a>
チェックデジット	送信する	<a href="#">108</a>
ナンバーシステム	送信する	<a href="#">108</a>
アドオンコード	無効	<a href="#">109</a>
アドオンコード要求	要求しない	<a href="#">109</a>
アドオンコードセパレータ	有効	<a href="#">110</a>
EAN/JAN-13		
読取り	有効	<a href="#">111</a>
チェックデジット	送信する	<a href="#">111</a>
アドオンコード	無効	<a href="#">112</a>
アドオンコード要求	要求しない	<a href="#">112</a>
アドオンコードセパレータ	有効	<a href="#">113</a>
ISBN 変換	無効	<a href="#">113</a>
EAN/JAN-8		
読取り	有効	<a href="#">114</a>
チェックデジット	送信する	<a href="#">114</a>
アドオンコード	無効	<a href="#">115</a>
アドオンコード要求	要求しない	<a href="#">115</a>
アドオンコードセパレータ	有効	<a href="#">116</a>
MSI		
読取り	無効	<a href="#">117</a>
チェックデジット	1 桁 MOD10 検査するが送信しない	<a href="#">118</a>
可読桁数	4 桁～48 桁の範囲	<a href="#">119</a>

## 設定一覧（続き）

バーコードシンボル設定（続き）		
設定項目	標準値	掲載ページ
GS1 DataBar Omnidirectional		
読取り	有効	120
GS1 DataBar Limited		
読取り	有効	121
GS1 DataBar Expanded		
読取り	有効	122
可読桁数	4 桁～74 桁の範囲	122
Codablock A		
読取り	無効	123
可読桁数	1 桁～600 桁の範囲	123
Codablock F		
読取り	無効	124
可読桁数	1 桁～2048 桁の範囲	124
PDF417		
読取り	有効	125
可読桁数	1 桁～2750 桁の範囲	125
マクロ PDF417 読取り	有効	126
Micro PDF417		
読取り	無効	127
可読桁数	1 桁～366 桁の範囲	127
GS1 合成シンボル（CC-A、CC-B、CC-C）		
読取り	無効	128
UPC/EAN バージョン	無効	128
可読桁数	1 桁～2435 桁の範囲	129
GS1 エミュレーション	無効	130
TCIF Linked Code39 読取り	無効	131



## 設定一覧（続き）

バーコードシンボル設定（続き）		
設定項目	標準値	掲載ページ
QR コード		
読取り	有効	132
可読桁数	1 桁～2435 桁の範囲	132
シンボル連結	有効	133
Data Matrix		
読取り	有効	134
可読桁数	1 桁～3116 桁の範囲	134
Aztec コード		
読取り	有効	135
可読桁数	1 桁～3832 桁の範囲	135
シンボル連結	有効	136
Han Xin コード（漢信コード）		
読取り	無効	137
可読桁数	1 桁～7833 桁の範囲	137
郵便コード（1 次元）		
China Post 読取り	無効	138
China Post 可読桁数	4 桁～80 桁の範囲	138
Korea Post 読取り	無効	139
Korea Post 可読桁数	4 桁～48 桁の範囲	139
Korea Post チェックデジット	送信しない	140

## 8. 設定メニュー

### 8.1. 設定方法について

スキャナは、専用の設定バーコードを読み込ませることで設定の変更を行います。変更された設定は不揮発性メモリに保存され、スキャナの電源を切っても設定は保持されます。

スキャナの設定を変更するには、ターゲットの設定バーコードを読み込ませてください。

多くのコンピュータモニタでは、モニタ上に表示させたバーコードを直接読取ることができます。モニタ上に表示されたバーコードを読取るためには、画面を明るくしてバーコードがはっきりと見えるように拡大してから読取ってください。拡大率などはモニタの仕様によります。

設定バーコードの仕様については、次の例図をご参照ください



## 8.2. システム設定

### カスタムデフォルトの設定

お客様ご自身でカスタムデフォルトを作成することができます。それを行なうには、**カスタムデフォルト設定**を読み取ってから、カスタムデフォルトに組み込みたい1つまたは複数のメニューコマンドを読み取ります。希望のメニューコマンドで[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の英数字を使用する必要がある場合は、英数字を読み取った後に**保存**を読み取ると全体のシーケンスが保存されます。

希望のメニューコマンドをすべて読み取ったら**カスタムデフォルト保存**を読み取って、カスタムデフォルトをスキャナに保存します。最後に**カスタムデフォルト起動**を読み取って、保存したカスタムデフォルトを呼び出して使用します。

注 カスタムデフォルトの設定中は、緑のLED ランプが点滅し続けます。



カスタム標準 設定



カスタム標準 保存

### カスタムデフォルトの起動

**カスタムデフォルト起動**を読み取ると、カスタムデフォルトが保存されている場合はカスタムデフォルトへ、カスタムデフォルトが保存されていない場合は工場出荷デフォルトへ、スキャナの設定をリセットします。



カスタムデフォルト起動

## カスタムデフォルトの削除（工場出荷デフォルト）

カスタムデフォルトを含むすべての設定を工場出荷デフォルトへリセットしたい場合は、カスタムデフォルト削除を読み取った後にデフォルト起動を読み取ります。

注 出荷時のカスタムデフォルトとして [USB キーボード\(PC\) CR サフィックス付き](#)が設定されています。



カスタムデフォルト削除



デフォルト起動

## デコーダバージョンの表示

デコーダバージョンを出力するには次のバーコードを読み取ります。



デコーダバージョン表示

## スキャンドライババージョンの表示

スキャンドライババージョンを出力するには次のバーコードを読み取ります。



スキャンドライババージョン表示

## ソフトウェアバージョンの表示

ソフトウェアバージョンを出力するには次のバーコードを読み取ります。



ソフトウェアバージョン表示

## データ編集の表示

現在設定されているデータ編集の状態を出力するには次のバーコードを読み取ります。



DFMBK3?.

データ編集設定表示

## テストメニュー

この機能を有効にしたあと、このマニュアル内のプログラミングコードを読み取ると、スキャナはプログラミングコードの内容（コマンド）を表示します。プログラミング機能は維持されます。

注 この機能は通常のスキャナ操作では使用しないでください。

初期値 = 無効



TSTMNU1.

有効



TSTMNU0.

無効

## 8.3. インターフェース設定

### キーボードウェッジ

次のコードを読み取り、キーボードウェッジインターフェースにスキャナを設定します。



PAP\_AT.

IBM PC/AT 互換機

CR サフィックス付き

### ラップトップ PC との直接接続

次のコードを読み取り、ラップトップ直接接続インターフェースにスキャナを設定すれば、ほとんどのラップトップ PC で、内蔵キーボードをスキャナの同時操作が可能になります。



PAPLTD.

ラップトップ直接接続

CR サフィックス付き

## USB IBM SurePos

次の「プラグアンドプレイ」コードの1つを読み取り、IBM SurePOS（USB ハンドヘルドスキャナ）または IBM SurePos（USB テーブルトップスキャナ）インターフェースにスキャナを設定します。

注 これらのコードを読み取った後、キャッシュレジスタの電源を切って入れ直してください。



**USB IBM SurePos**  
(USB ハンドヘルドスキャナインターフェース)



**USB IBM SurePos**  
(USB テーブルトップスキャナインターフェース)

上記の各バーコードは、各シンボルに対して次のサフィックス設定も行ないます。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN/JAN-8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN/JAN-13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC-A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC-E	0A		

## USB PC またはマッキントッシュキーボード

次のコードの1つを読み取り、USB PC キーボードまたは USB マッキントッシュキーボードにスキャナを設定します。



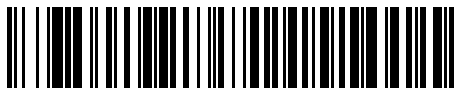
PAP124.

**USB キーボード (PC)**  
**CR サフィックス付き**



PAP125.

**USB キーボード (Mac)**  
**CR サフィックス付き**



TERMID134.

**USB 日本語キーボード (PC)**

## USB HID

次のバーコードを読み取り、USB HID バーコードスキャナにスキャナを設定します。



PAP131.

**USB HID バーコードスキャナ**



## USB 仮想 COM エミュレーション (USB シリアル)

次のバーコードを読み取り、USB 仮想 COM エミュレーションにスキャナを設定します。別途ドライバやシリアルポートを使用するためのアプリケーションが必要です。ドライバのインストール方法などは、ウェブページの「MS832\_USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアル」をご覧ください。

注 日本語（全角文字や半角カナ文字）が入ったシンボルを読み取る場合は「USB 仮想 COM エミュレーション」をご使用ください。

注 追加の機器構成（ボーレートなど）は必要ありません。



TERMID130.

USB 仮想 COM エミュレーション

## CTS/RTS エミュレーション

初期値 = 無効



USBCTS1.

有効



USBCTS0.

無効

## ACK/NAK モード

初期値 = 無効



USBACK1.

有効



USBACK0.

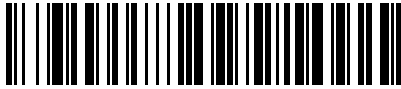
無効

## キーボードレイアウト

国または言語に対応したキーボードレイアウトを次の適切な国コードを読み取って設定します。原則として、次の文字群はサポートされていますが、アメリカ以外の国では特別な注意が必要です：

@ | \$ “ { } [ ] = / ‘ \ < > ~

初期値 = アメリカ



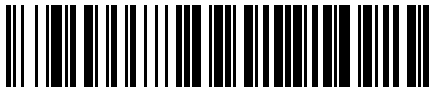
KBDCTY0.

アメリカ



KBDCTY28.

日本



KBDCTY87.

アメリカ (Dvorak 配列)



KBDCTY88.

アメリカ (左きき用 Dvorak 配列)



KBDCTY89.

アメリカ (右きき用 Dvorak 配列)



KBDCTY30.

アメリカ (インターナショナル配列)



KBDCTY35.

アルバニア



KBDCTY81.

アゼルバイジャン (キリル文字)



KBDCTY80.

アゼルバイジャン (ラテン文字)

## キーボードレイアウト（続き）



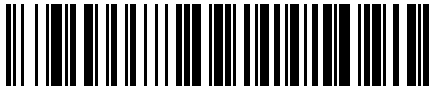
KBDCTY82.

ベラルーシ



KBDCTY1.

ベルギー



KBDCTY33.

ボスニア



KBDCTY16.

ブラジル



KBDCTY59.

ブラジル (US)



KBDCTY52.

ブルガリア (キリル文字)



KBDCTY53.

ブルガリア (ラテン文字)



KBDCTY54.

カナダ (フランス語 Legacy)



KBDCTY18.

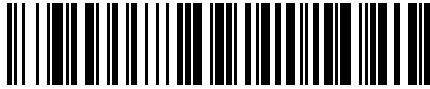
カナダ (フランス語)



KBDCTY55.

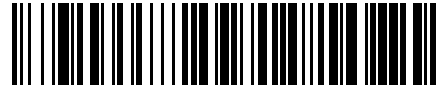
カナダ (マルチリンガル標準)

## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY32.

クロアチア



KBDCTY15.

チェコ



KBDCTY40.

チェコ（プログラマ）



KBDCTY39.

チェコ（QWERTY 配列）



KBDCTY38.

チェコ（QWERTZ 配列）



KBDCTY8.

デンマーク



KBDCTY11.

オランダ



KBDCTY41.

エストニア



KBDCTY83.

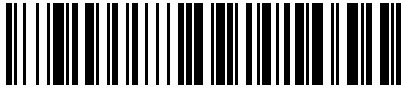
フェロー語



KBDCTY2.

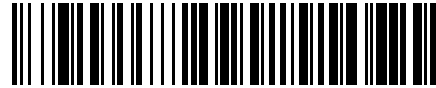
フィンランド

## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY3.

フランス



KBDCTY84.

ゲール語



KBDCTY4.

ドイツ



KBDCTY17.

ギリシャ



KBDCTY64.

ギリシャ（220 ラテン）



KBDCTY61.

ギリシャ（220）



KBDCTY65.

ギリシャ（319 ラテン）



KBDCTY62.

ギリシャ（319）



KBDCTY63.

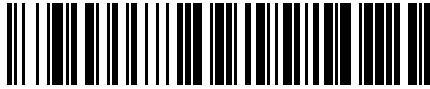
ギリシャ（ラテン）



KBDCTY66.

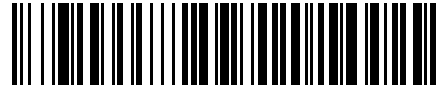
ギリシャ（US）

## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY60.

ギリシャ (Polytonic)



KBDCTY12.

ヘブライ語



KBDCTY50.

ハンガリー (101 キーボード)



KBDCTY19.

ハンガリー



KBDCTY75.

アイスランド



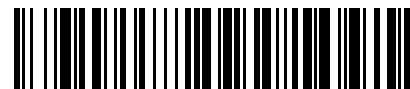
KBDCTY73.

アイルランド



KBDCTY56.

イタリア (142)



KBDCTY5.

イタリア



KBDCTY78.

カザフスタン



KBDCTY79.

キルギスタン (キリル文字)

## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY14.

ラテンアメリカ



KBDCTY42.

ラトビア



KBDCTY43.

ラトビア（QWERTY 配列）



KBDCTY44.

リトアニア



KBDCTY45.

リトアニア（IBM）



KBDCTY34.

マケドニア



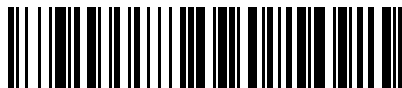
KBDCTY74.

マルタ



KBDCTY86.

モンゴル（キリル文字）



KBDCTY9.

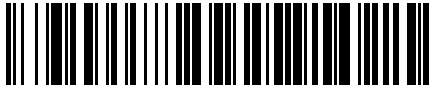
ノルウェー



KBDCTY20.

ポーランド

## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY57.

ポーランド（214）



KBDCTY58.

ポーランド（プログラマ）



KBDCTY13.

ポルトガル



KBDCTY25.

ルーマニア



KBDCTY26.

ロシア



KBDCTY67.

ロシア（US）



KBDCTY68.

ロシア（タイプライター）



KBDCTY21.

SCS



KBDCTY37.

セルビア（キリル文字）

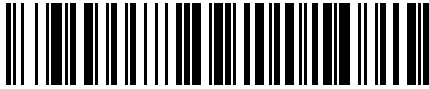


KBDCTY36.

セルビア（ラテン文字）



## キーボードレイアウト（続き）



KBDCTY22.

スロバキア



KBDCTY49.

スロバキア（QWERTY 配列）



KBDCTY48.

スロバキア（QWERTZ 配列）



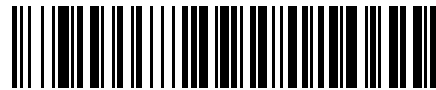
KBDCTY31.

スロベニア



KBDCTY10.

スペイン



KBDCTY51.

スペイン（バリエーション）



KBDCTY23.

スウェーデン



KBDCTY29.

スイス（フランス語）



KBDCTY6.

スイス（ドイツ語）



KBDCTY85.

タタール語

## キーボードレイアウト（続き）



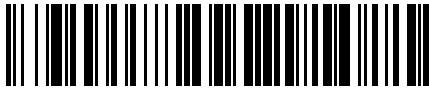
KBDCTY27.

トルコ語 F



KBDCTY24.

トルコ語 Q



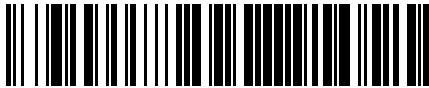
KBDCTY76.

ウクライナ



KBDCTY7.

イギリス



KBDCTY77.

ウズベキスタン（キリル文字）

## キーボードスタイル

例えば Caps Lock や Shift Lock など、キーボードスタイルを設定します。[大文字・小文字変換](#)（44 ページ）の設定は、キーボードスタイルの設定より優先されます。

**レギュラー**は、通常、Caps Lock キーが OFF の場合に使用します。

**Caps Lock** は、通常、Caps Lock キーが ON の場合に使用します。

**Shift Lock** は、Shift Lock キーが ON の場合に使用します。この機能は、Shift Lock が使用できないシステムでは動作しません。

**自動 Caps Lock** は、Caps Lock キーの ON と OFF を切り替える場合に使用します。Caps Lock が ON または OFF になった場合、スキャナは Caps Lock キーの状態を監視し、常に正しい文字を送信します。この機能は Caps Lock の状態を示す LED を持ったシステムでのみ使用できます（AT キーボード）。

初期値 = レギュラー



レギュラー



**Caps Lock**



**Shift Lock**



**自動 Caps Lock**

## 大文字・小文字変換

アルファベットを強制的にすべて大文字またはすべて小文字に変換することができます。たとえば「abc569GK」というバーコードを読み取った場合、すべて大文字に変換であれば「ABC569GK」として、すべて小文字に変換であれば「abc596gk」として出力されます。

これらの設定は[キーボードスタイル](#)（43 ページ）の設定より優先されます。

*注* 使用しているインターフェースがキーボードウェッジの場合、最初に[キーボードスタイル](#)の自動 **Caps Lock** を設定してください。そうしなければ、希望されている文字と異なる結果が出力される場合があります。

初期値 = 変換しない



KBDENV0.

変換しない



KBDENV1.

すべて大文字に変換する



KBDENV2.

すべて小文字に変換する

## 制御文字出力

この機能は、制御文字の代わりに文字列を送信します。例えば、キャリッジリターンの制御文字は、ASCII コード「0D」の代わりに「[CR]」を出力し表示します。代わりに表示される文字列については[ASCII 変換チャート](#)（162 ページ）を参照してください。00 から 1F ままで変換されます（チャートの 2 列目）。

Ctrl+ASCII モードは、この機能より優先されます。

[ ] は、使用している国コードや PC の地域設定によって異なる場合があります。

初期値 = 無効



KBDNPE1.

有効



KBDNPE0.

無効

## キーボード出力の変更

これは、たとえば **CTRL+ASCII モード**や**ターボモード**のような特殊なキーボード機能を設定します。

**Windows モードの Control + ASCII モード有効**は、00～1F までの ASCII 制御文字をキーの組み合わせとして送信します。Windows 上で推奨されるモードです。すべてのキーボードの国コードでサポートされています。DOS モードは昔のモードで、すべてのキーボードの国コードをサポートしているわけではありません。新規のユーザーは、Windows モードを使用することを推奨いたします。CTRL+ASCII 値については [ASCII 変換チャート](#)（162 ページ）を参照してください。

**Windows モード プリフィックス/サフィックス無効**は、00～1F までの ASCII 制御文字をキーの組み合わせとして送信しますが、プリフィックスまたはサフィックスの変換は一切行ないません。

初期値 = Control + ASCII モード無効



Windows モードの

Control + ASCII モード有効



Control + ASCII モード無効



DOS モードの

Control + ASCII モード有効



Windows モード

プリフィックス/サフィックス無効

**ターボモード**は、文字をターミナルに素早く送信します。ターミナルが文字の欠落を起こす場合はターボモードを使用しないでください。

初期値 = ターボモード無効



**ターボモード有効**



**ターボモード無効**

**テンキーモード**は、あたかもテンキーパッドで入力したように数字を送信します。

初期値 = テンキーモード無効



**テンキーモード有効**



**テンキーモード無効**

**自動直接接続モード**は、IBM AT スタイルターミナルおよびシステムが文字の欠落を起こす場合に使用することができます。

初期値 = 自動直接モード無効



**自動直接接続モード有効**



**自動直接接続モード無効**

## デッドキー出力

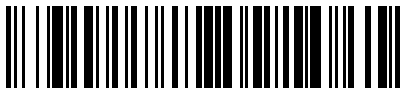
印刷不能文字を Alt キー+テンキーパッドの組み合わせで送信します。

注 読み取っている 1 次元、2 次元バーコードの実装、使用 OS、使用アプリケーションの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

Windows 上で半角カナを送信したい場合は、Unicode (ISO/IEC 10646-1)または Windows システムコードページを読み取ってください。漢字、ひらがな、全角カナ、その他の全角文字などには対応できません。それらの出力が必要な場合は、[USB 仮想 COM エミュレーション](#) (33 ページ) をご使用ください。

注 半角カナの送信は、1 文字毎に 4 つまたは 5 つのキー操作を行ないながら送信するため、1 文字の処理に時間がかかりますのでご注意ください。

初期値 = 無効



KBDALT0.

無効



KBDALT1.

Windows コードページ 1252

Alt キー + テンキー4 文字



KBDALT2.

DOS コードページ 437

Alt キー + テンキー3 文字



KBDALT3.

Unicode (ISO/IEC 10646-1)



KBDALT4.

Windows システムコードページ



KBDALT5.

DOS システムコードページ

## 8.4. 入出力設定

### 電源投入時のビープ音

電源投入時のビープ音を鳴らしたくない場合は、**無効**を読み取ってください。

初期値 = 有効



BEPPWR0.

**無効**



BEPPWR1.

有効

### [BEL]文字とビープ音

ホストからのコマンド送信で強制的にビープ音を鳴らしたい場合は、以下より**[BEL]文字を使用する**を読み取ります。スキャナはホストから[BEL]文字を受信するたびにビープ音を鳴らします。

初期値 = [BEL]文字を使用しない



BELBEP0.

[BEL]文字を使用しない



BELBEP1.

**[BEL]文字を使用する**



## トリガークリック音

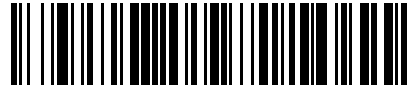
トリガーボタンを押すたびにクリック音を鳴らしたい場合は、以下より**有効**を読み取ります。(この機能は、シリアル通信や自動トリガーでは使用できません。)

初期値 = 無効



BEPTRG0.

無効



BEPTRG1.

有効

## 読取り成功とエラーの表示

### ビープ音 鳴動（読取り成功）

読取り成功時のビープ音を鳴らしたくない場合は、以下より**無効**を読み取ります。この機能を無効にしても、エラー音やメニュー音は無効になりません。

初期値 = 有効



BEPBEP0.

無効



BEPBEP1.

有効

### ビープ音 音量（読取り成功）

読取り成功時のビープ音の音量を変更したい場合は、以下より読み取ります。

初期値 = 高



BEPLVL1.

小



BEPLVL2.

中



BEPLVL3.

大



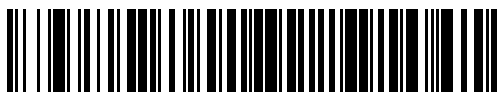
BEPLVL0.

なし

## ビープ音 音程（読取り成功）

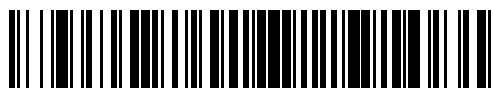
読取り成功時のビープ音の音程を変更したい場合は、以下より読み取ります。

初期値 = 中



BEPFQ11600.

低 (1600 Hz)



BEPFQ12400.

中 (2400 Hz)



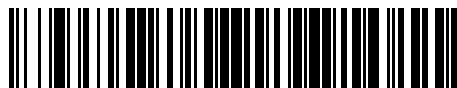
BEPFQ14200.

高 (4200 Hz)

## ビープ音 音程（エラー）

エラー時のビープ音の音程を変更したい場合は、以下より読み取ります。

初期値 = 低



BEPFQ2250.

低 (250 Hz)



BEPFQ23250.

中 (3250 Hz)



BEPFQ24200.

高 (4200 Hz)

## ビープ音 鳴動時間（読取り成功）

読取り成功時のビープ音の鳴動時間を変更したい場合は、以下より読み取ります。

初期値 = 標準



BEPBIP0.

標準



BEPBIP1.

短い

## LED 明滅（読取り成功）

読取り成功時に LED の点灯をしたくない場合は、以下より**無効**を読み取ります。

初期値 = 有効



BEPLED1.

有効



BEPLED0.

無効

## ビープ音 鳴動回数（読取り成功）

読取り成功時のビープ音の鳴動回数を、**1～9 回**の範囲で設定することができます。ここで設定した回数と同じ回数が、[ビープ音鳴動](#)（50 ページ）と [LED 明滅](#)（52 ページ）に適用されます。たとえば、このオプションを 5 回に設定した場合、読取り成功時にビープ音が 5 回鳴動し LED が 5 回明滅します。ビープ音と LED はお互いに同期しています。

回数を変更したい場合は、以下のバーコードを読取ってから設定したい回数（1～9 回）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

初期値 = 1 回



BEPRPT.

ビープ音の鳴動回数と LED の明滅回数  
（読取り成功）

## ビープ音 鳴動回数（エラー）

エラー時のビープ音の鳴動回数を、0～9 回の範囲で設定することができます。たとえば、このオプションを 5 回に設定した場合、エラー時にビープ音が 5 回鳴動し LED が 5 回明滅します。

回数を変更したい場合は、以下のバーコードを読取ってから設定したい回数（1～9 回）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

初期値 = 1 回



BEPERR.

ビープ音の鳴動回数と LED の明滅回数  
(エラー)

## 読取り遅延

この設定は、読取り成功後に次のバーコードを読取ることができるようになるまでの遅延時間を変更します。

初期値 = 遅延なし



DLYGRD0.

遅延無し



DLYGRD500.

500 ミリ秒



DLYGRD1000.

1,000 ミリ秒



DLYGRD1500.

1,500 ミリ秒

## ユーザー定義の読取り遅延

読取り成功後に次のバーコードを読取ることができるようになるまでの遅延時間を任意の値に変更したい場合は、以下のバーコードを読取ってから設定したい遅延時間（0～30,000 ミリ秒）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。



DLYGRD.

ユーザー定義の読取り遅延

## マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードのとき、スキャナはバーコードを読み取るかトリガーボタンを解放するまで読取りを行いません。



PAPHHF.

マニュアルトリガーモード

## LED 照明（マニュアルトリガーモード）

LED 照明の明るさを変更したい場合は、以下のバーコードの 1 つを読み取ります。この設定は、トリガーを引いているときのスキャナの LED 照明を変更します。

*注* LED 照明はカメラのフラッシュのようなものです。部屋の中や周辺が暗い場合、スキャナはバーコードを見つけるために、より明るい LED 照明を必要とします。

初期値 = とても明るい



PWRNOL50.

明るい



PWRNOL150.

とても明るい

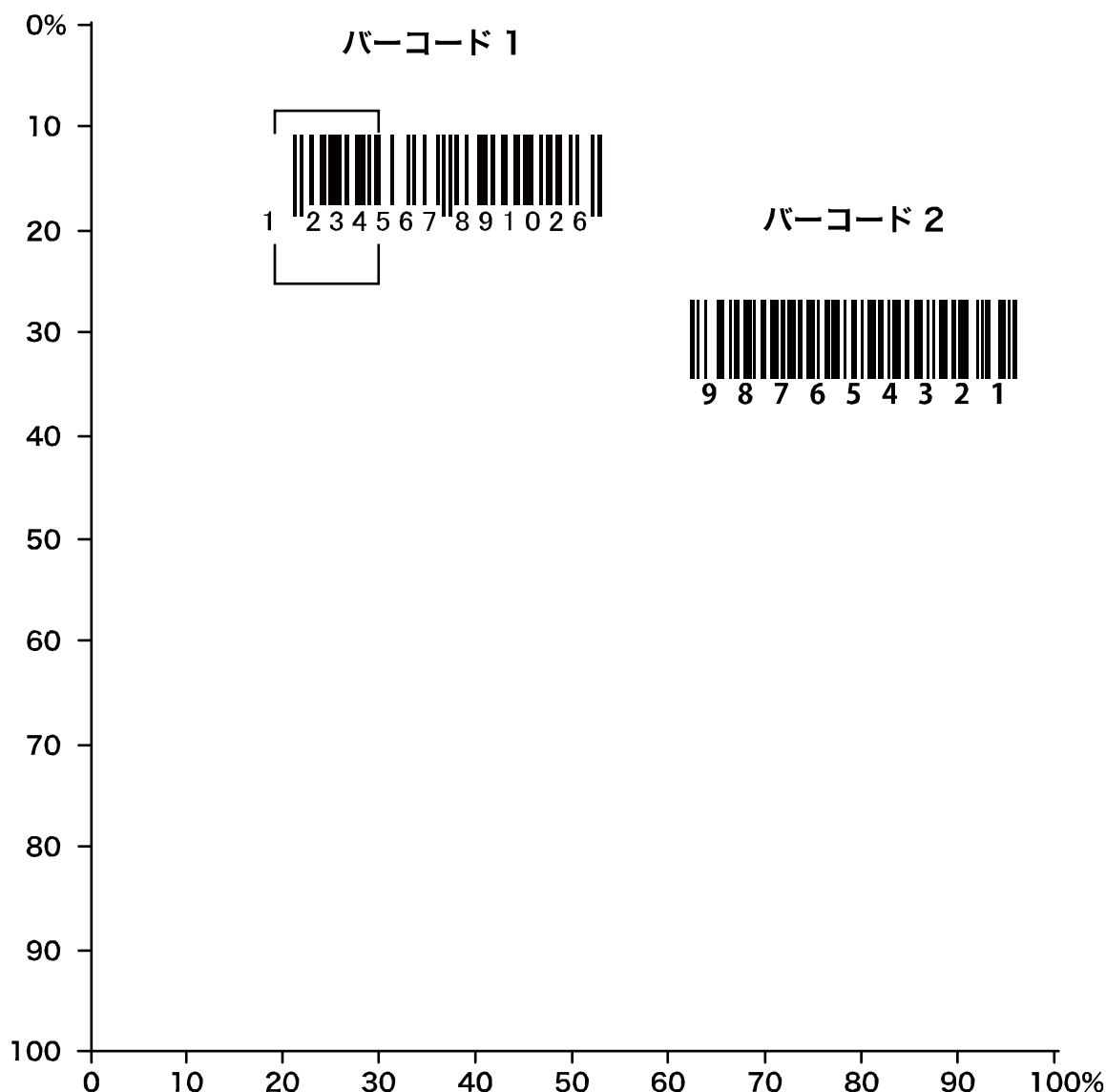
## マニュアルトリガーセンタリング

マニュアルトリガーセンタリングを使用しスキャナの読取り領域を狭めると、意図したバーコードだけを確実に読み取ることができます。たとえば、複数のバーコードが近い位置に配置されている場合、この機能はターゲットのバーコードだけを読み取るために役立ちます。

注 プレゼンテーションモードについては、[プレゼンテーションセンタリング](#) (59 ページ) を参照してください。

マニュアルトリガーセンタリングが有効の場合、スキャナはセンタリングウィンドウ上/下/左/右を使用して指定しているセンタリングウィンドウを通過したバーコードだけを読み取ります。

以下の例で、白い四角がセンタリングウィンドウです。この例では、センタリングウィンドウの左を 20%、右を 30%、上を 8%、下を 25% に設定しています。バーコード 1 はセンタリングウィンドウを通過しているので読み取られます。バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので読み取られません。



注 バーコードを読み取るためにはセンタリングウィンドウに触れる必要があります。センタリングウィンドウを完全に通過する必要はありません。



センタリングウィンドウの範囲を変更するには、**マニュアルトリガーセンタリングを有効**にし、以下の変更する**センタリングウィンドウの上/下/左/右**の1つを読取ってから、設定したいパーセンテージを[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

マニュアルトリガーセンタリング = 無効

センタリングウィンドウ = 上 40%、下 60%、左 40%、右 60%



DECWIN1.

**マニュアルトリガーセンタリング 有効**



DECWIN0.

**マニュアルトリガーセンタリング 無効**



DECTOP.

**センタリングウィンドウ 上**



DECBOT.

**センタリングウィンドウ 下**



DECLFT.

**センタリングウィンドウ 左**

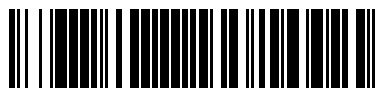


DECRGT.

**センタリングウィンドウ 右**

## プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードは、周辺の光を利用してバーコードを検知します。バーコードが検知されるまでスキャナは待機状態となり、バーコードを検知した後 LED を光らせてバーコードを読み取ります。部屋の中の環境光がバーコードを検知するために必要な明るさに達していない場合、プレゼンテーションモードは適切に動作しません。

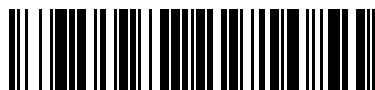


PAPPST.

プレゼンテーションモード

## プレゼンテーション感度

バーコードに対するスキャナの反応時間を増加または減少させるには、以下のバーコードを読み取ってから数値（0～20）を [プログラミングチャート](#)（169 ページ）の数字を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。「0」は最も敏感な設定で、「20」は最も鈍感な設定です。



TRGPMS.

感度

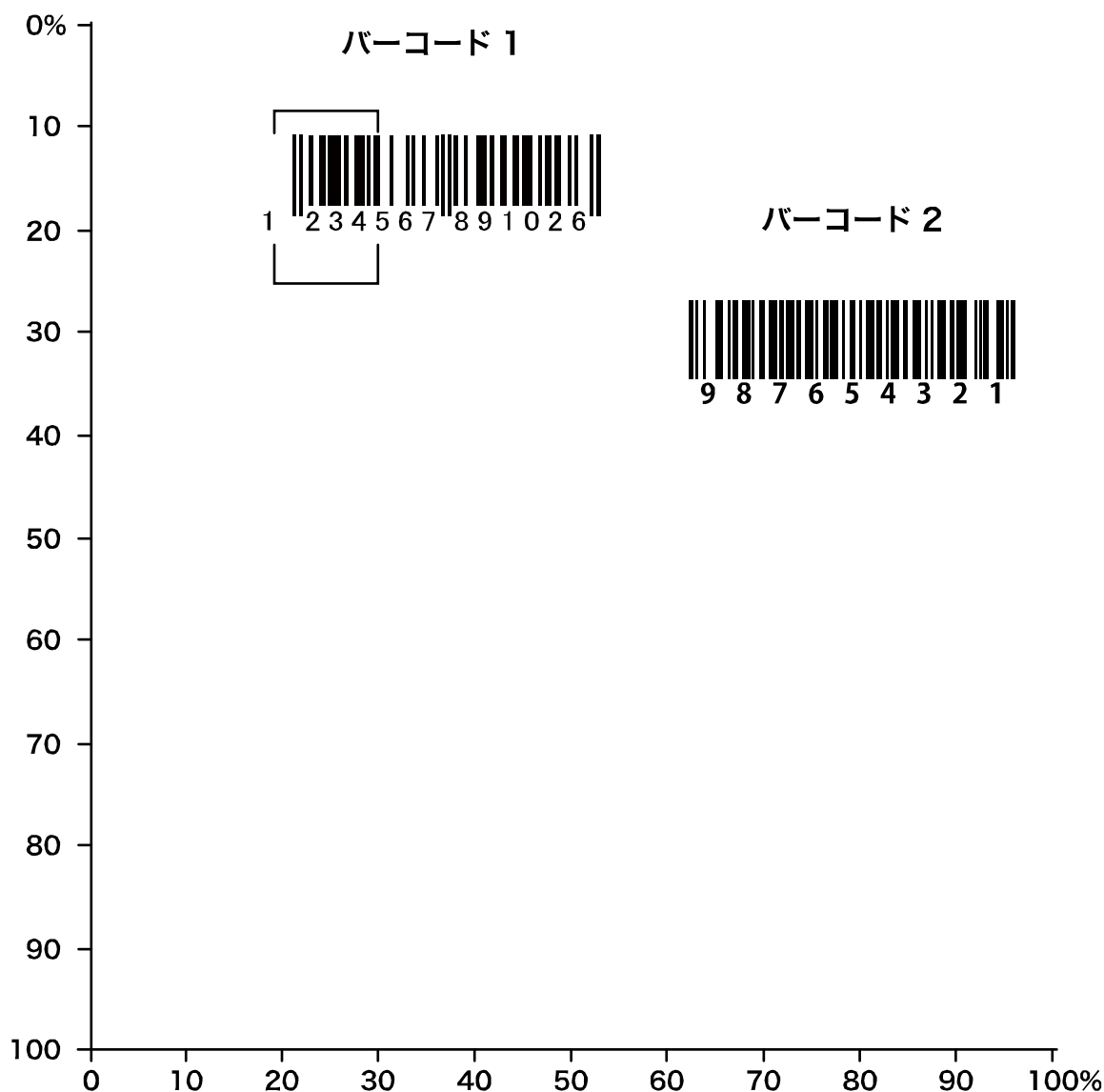
## プレゼンテーションセンタリング

プレゼンテーションセンタリングを使用しスキャナの読取り領域を狭めると、意図したバーコードだけを確実に読み取ることができます。たとえば、複数のバーコードが近い位置に配置されている場合、この機能はターゲットのバーコードだけを読み取るために役立ちます。

注 マニュアルトリガーモードについては、[マニュアルトリガーセンタリング](#) (56 ページ) を参照してください。

プレゼンテーションセンタリングが有効の場合、スキャナはセンタリングウィンドウ上/下/左/右を使用して指定しているセンタリングウィンドウを通過したバーコードだけを読み取ります。

以下の例で、白い四角がセンタリングウィンドウです。この例では、センタリングウィンドウの左を 20%、右を 30%、上を 8%、下を 25% に設定しています。バーコード 1 はセンタリングウィンドウを通過しているので読み取られます。バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので読み取られません。



注 バーコードを読み取るためにはセンタリングウィンドウに触れる必要があります。センタリングウィンドウを完全に通過する必要はありません。

センタリングウィンドウの範囲を変更するには、**プレゼンテーションセンタリングを有効**にし、以下の変更する**センタリングウィンドウの上/下/左/右**の1つを読取ってから、設定したいパーセンテージを[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

プレゼンテーションセンタリング = 無効

センタリングウィンドウ = 上 40%、下 60%、左 40%、右 60%



PDCWIN1.

**プレゼンテーションセンタリング 有効**



PDCWIN0.

**プレゼンテーションセンタリング 無効**



PDCTOP.

**センタリングウィンドウ 上**



PDCBOT.

**センタリングウィンドウ 下**



PDCLFT.

**センタリングウィンドウ 左**



PDCRGT.

**センタリングウィンドウ 右**

## 電子ディスプレイ読取りモード

このモードが選択されている場合、スキャナはスマートフォンやその他の液晶ディスプレイ上に表示されているバーコードの読取りに対して最適化されます。しかし、印刷されたバーコードの読取りスピードは遅くなるかもしれません。液晶画面上のバーコードを読み取る場合は、画面を十分に明るくし、ターゲットのバーコードがはっきりと認識できるよう拡大してください。



マニュアルトリガー



プレゼンテーション

注 スマートフォン画面読取りモードを終了したい場合は、[マニュアルトリガーモード](#) (55 ページ) のバーコードを読み取ってください。

## ハンドフリータイムアウト

プレゼンテーションモードを使用しているときにスキャナのトリガーを引くと、スキャナはマニュアルトリガーモードに変更されます。ハンドフリータイムアウトの設定によって、マニュアルトリガーモードで動作する時間を設定できます。トリガーが引かれることなくタイムアウトの時間が過ぎると、スキャナはプレゼンテーションモードへ復帰します。

ハンドフリータイムアウトの時間を変更するには、以下のバーコードを読取ってから設定したいタイムアウト (0~300,000 ミリ秒) を[プログラミングチャート](#) (169 ページ) の数字を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

初期値 = 5,000 ミリ秒



ハンドフリータイムアウト

## 二重読取り遅延

同一バーコードにおいて 2 回目の読取りを許可するまでの時間を設定します。この設定は、予想外の同一バーコードの二重読取りを防止するために役立ちます。より長い遅延時間は、予期しない二重読取りを最小にする効果があります。この設定は、[プレゼンテーションモード](#)（58 ページ）でのみ動作します。

初期値 = 750 ミリ秒



DLYRRD500.

500 ミリ秒



DLYRRD750.

750 ミリ秒



DLYRRD1000.

1,000 ミリ秒



DLYRRD2000.

2,000 ミリ秒

## ユーザー定義の二重読取り遅延

同一バーコードにおいて 2 回目の読取りを許可するまでの時間を任意の値に変更したい場合は、以下のバーコードを読取ってから設定したい遅延時間（0～30,000 ミリ秒）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。



DLYRRD.

ユーザー定義の二重読取り遅延

## 「読取なし」メッセージ

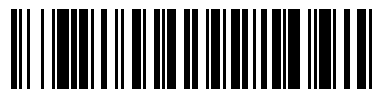
「読取なし」メッセージを有効にすると、スキャナはバーコードを読み取ることができなかった場合に通知します。読取りができなかった場合は「NR」を送信します。

初期値 = 無効



SHWNRD1.

有効



SHWNRD0.

無効

## 反転バーコードの読取

この機能は反転したバーコードの読取りを許可するために使用します。**反転無効**は、通常のバーコードのみを読み取ります。**反転のみ**は、反転したバーコードのみを読み取ります。**反転自動検知**は、通常および反転したバーコードの両方を読み取ります。

注 **反転のみ**を読み取ったあとは、設定用のメニューバーコードを読取ることができません。メニューバーコードの読取りには**反転無効**または**反転自動検知**を読み取ってください。

初期値 = 反転無効



VIDREV1.

反転のみ



VIDREV2.

反転自動検知

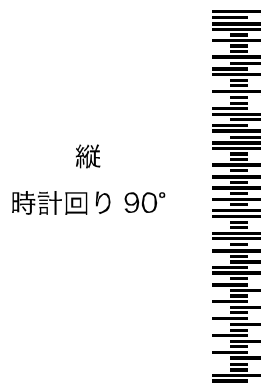
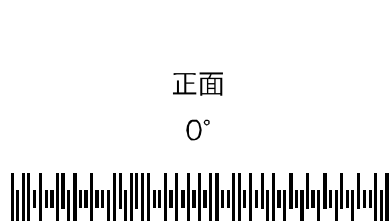


VIDREV0.

反転無効

## 読取り方向

いくつかのバーコードは、読み取り方向に敏感です。たとえば日本郵便カスタマバーコードは読み取り方向によって誤読します。通常使用時、読み取り方向に敏感なバーコードがスキヤナの正面から読み取られない場合はこの設定を使用します。



初期値 = 正面 0°



正面 0°



縦 時計回り 90°



上下逆 時計回り 180°



縦 時計回り 270°



## 8.5. プリフィックス/サフィックス

### プリフィックス/サフィックスの概要

バーコードを読み取ったとき、追加の情報としてプリフィックスまたはサフィックスをバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信することができます。

プリフィックス文字とサフィックス文字は、読み取ったデータの先頭または末尾に追加して送信することのできる文字列です。すべてまたは特定のシンボルを対象として追加することができます。以下の図は、送信されるデータ文字列の概要です。

プリフィックス	読み取ったデータ	サフィックス
1~11桁 英数字 & 制御文字	可変長	1~11桁 英数字 & 制御文字

### 留意点

- 必ずしもプリフィックスまたはサフィックスを追加する必要はありません。この章の機能群は、標準の読取りデータを変更したい場合のみ使用します。 プリフィックス初期値 = なし、サフィックス初期値 = なし
- プリフィックスまたはサフィックスは、1つまたはすべてのシンボルに追加または削除できます。
- 任意のプリフィックスまたはサフィックスを、162 ページからはじまる [ASCII 変換チャート](#) および AIM ID、コード ID より追加できます。
- 1 度に複数の文字を入力して、連結した文字列とすることができます。
- 出力したい順番にプリフィックスとサフィックスを入力する必要があります。
- すべてのシンボルではなく特定のシンボルに対して設定したとき、特定のシンボルのコード ID の値は追加されたプリフィックスまたはサフィックスの文字として見なされます。
- プリフィックスまたはサフィックスの最大サイズは、ヘッダ情報を含めて 200 文字です。

## プリフィックスまたはサフィックスの追加

手順 1. [プリフィックス追加](#) (67 ページ) または [サフィックス追加](#) (68 ページ) を読み取ります。

手順 2. 159 ページから始まる [シンボルチャート](#) でプリフィックスまたはサフィックス追加の対象としたいシンボルを見つけ、そのシンボルの 16 進値を [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

注 対象となるシンボルを限定せず、すべてのシンボルに対してワイルドカードを指定する場合は、**99** を入力します。

手順 3. 162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) で追加したいプリフィックスまたはサフィックスの文字を見つけ、その文字の 16 進値を [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

注 コード ID を追加するには **5C80** を入力します。

注 AIM ID を追加するには **5C81** を入力します。

注 バックスラッシュ (\) を追加するには **5C5C** を入力します。[ASCII 変換チャート](#) でバックスラッシュの 16 進値は **5C** となっていますが、実際に追加する場合は、**5C** を続けて 2 回入力します。

手順 4. 複数のプリフィックスまたはサフィックスを追加する場合は手順 3 を繰り返します。

手順 5. [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より **保存** を読み取って変更を保存するか、**破棄** を読み取って変更を保存せずに終了します。

注 他のシンボルにもプリフィックスまたはサフィックスを追加したい場合は、**手順 1～手順 5** を繰り返してください。

### 例：特定のシンボルにサフィックスを追加する

UPC-A コードのみに CR（キャリッジリターン）を追加します。

手順 1. [サフィックス追加](#) (68 ページ) を読み取ります。

手順 2. 159 ページから始まる [シンボルチャート](#) でプリフィックス追加の対象とする UPC-A の 16 進値である **63** を、[プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

手順 3. 162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) で追加するプリフィックス文字、CR の 16 進値である **0D** を、[プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

手順 4. [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より **保存** を読み取って変更を保存するか、**破棄** を読み取って変更を保存せずに終了します。

## 1つまたはすべてのサフィックスを消去する

特定のシンボルのプリフィックス/サフィックス、またはすべてのシンボルのプリフィックス/サフィックスを消去することができます。すべてのシンボルからプリフィックスまたはサフィックスを消去したい場合は、**全てのプリフィックスを消去**（67 ページ）または**全てのサフィックスを消去**（68 ページ）を読み取ります。特定のシンボルに追加したプリフィックスまたはサフィックスを消去したい場合は、以下の手順で行います。

手順 1. [1つのプリフィックスを消去](#)（67 ページ）または [1つのサフィックスを消去](#)（68 ページ）を読み取ります。

手順 2. 159 ページから始まる[シンボルチャート](#)で消去の対象としたい特定のシンボルを見つけ、そのシンボルの 16 進値を、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）より読み取って入力します。

注 すべてのシンボルを対象とする場合は **99** を入力します。

注 この変更は自動的に保存されます。

## すべてのシンボルに CR サフィックスを追加する

1 回ですべてのシンボルに CR サフィックスを追加したい場合は、以下のバーコードを読み取ります。これは、最初にすべてのサフィックスを消去し、次にすべてシンボルに対して CR サフィックスを設定します。



全シンボルに CR サフィックスを追加

## プリフィックス



プリフィックス追加



1つのプリフィックスを消去



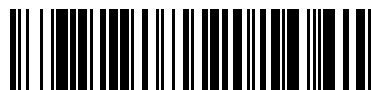
全てのプリフィックスを消去

## サフィックス



SUFBK2.

サフィックス追加



SUFCL2.

1つのサフィックスを消去



SUFCA2.

全てのサフィックスを消去

## 機能コード送信

この設定が**有効**でスキャンしたバーコードデータに機能コードが含まれているとき、スキャナは機能コードをターミナルに送信します。これらの機能コードは、[ASCII 変換チャート](#)（162 ページ）で提供されます。キーボードウェッジの場合は、スキャンコードは送信前にキーコードへ変換されます。

初期値 = 有効



RMVFNC0.

有効



RMVFNC1.

無効

## 8.6. 文字間、機能間、データ間遅延

スキャナからのデータの送信速度が速すぎる場合、環境によってはデータの欠落が発生する可能性があります。これらの設定はデータの送信速度を遅くし、より完全な状態でのデータの取得が可能となります。

### 文字間遅延

読取りデータの各文字と文字の間の送信遅延を、最大 5,000 ミリ秒（5 の倍数単位）で設定します。設定を行なうには、以下の**文字間遅延**を読取り、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読みます。



この遅延を削除するには、**文字間遅延**を読み取ったあと、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）から **0** を読取り、最後に**保存**を読みます。

*注* 文字間遅延は USB 仮想 COM エミュレーションではサポートされていません。

## ユーザー定義の文字間遅延

読取りデータの特定の文字と文字の間の送信遅延を、最大 5,000 ミリ秒（5 の倍数単位）で設定します。以下の**遅延時間**を読取り、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して遅延時間を設定し、最後に**保存**を読みます。

次に、**遅延させる文字**を読取り、162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 2 桁の 16 進値を [プログラミングチャート](#)（169 ページ）を使用して設定し、最後に**保存**を読みます。



DLYCRX.

遅延時間



DLY\_XX.

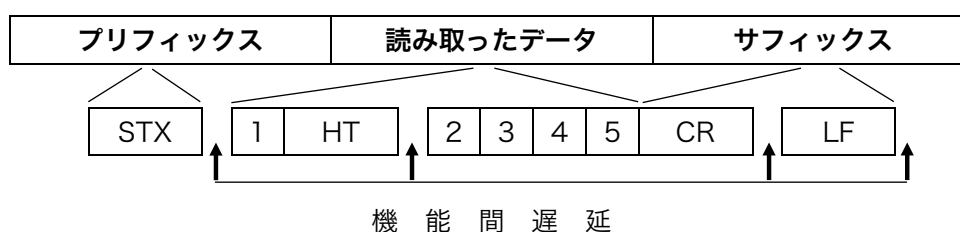
遅延させる文字

この遅延を削除するには、**遅延時間**を読み取ったあと、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）から **0** を読取り、最後に**保存**を読みます。

注 文字間遅延は USB 仮想 COM エミュレーションではサポートされていません。

## 機能間遅延

読取りデータの各区切り送信遅延を、最大 5,000 ミリ秒（5 の倍数単位）で設定します。以下の**機能間遅延**を読取り、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して遅延時間を設定し、最後に**保存**を読みます。



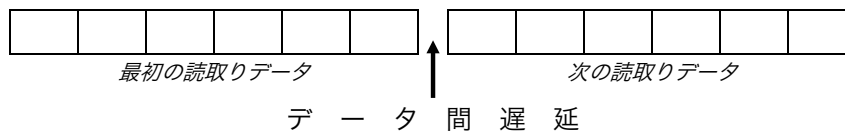
DLYFNC.

機能間遅延

この遅延を削除するには、**機能間遅延**を読み取ったあと、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）から **0** を読取り、最後に**保存**を読みます。

## データ間遅延

最初の読取りデータとその次の読取りデータとの送信遅延を、最大 5,000 ミリ秒（5 の倍数単位）で設定します。以下の**データ間遅延**を読取り、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して遅延時間を設定し、最後に**保存**を読み取ります。



DLYMSG.  
データ間遅延

この遅延を削除するには、**機能間遅延**を読み取ったあと、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）から **0** を読取り、最後に**保存**を読み取ります。

## 8.7. データ編集

### データ編集の概要

スキャナの出力を変更するにはデータ編集を使用します。たとえば、読み取ったバーコードデータのいくつかの場所に文字（列）を挿入することができます。

通常は、バーコードを読むと自動的に出力されます。しかし、データ編集を行なった場合、データの出力には[送信コマンド](#)（75 ページ）が必要です。

スキャナは、1つのデータ編集フォーマットに複数のコマンドをプログラミングできます。たとえば、1つの読み取ったバーコードデータに対して2桁目の文字から3文字と10文字目の文字から5文字を送信することができます。それらのコマンドは入力した順に実行されるようにスキャナへ保存されますが、以下のリストはあらかじめ定義された順に保存されます。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の桁数
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の桁数
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の桁数
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の桁数
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の桁数
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の桁数
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の桁数
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の桁数

データ編集で設定できる最大サイズは、ヘッダ情報を含めて 2,000 バイトです。

もしもデータ編集設定を変更したい場合やすべてのデータ編集設定を消去してデフォルトに戻したい場合は、以下の**データ編集初期化**を読み取ってください。



データ編集初期化

現在設定されているデータ編集の状態を出力するには次のバーコードを読み取ります。



データ編集設定表示



## データ編集の作成

手順 1. **データ編集開始** (74 ページ) を読み取ります。

手順 2. **基本/代替編集フォーマット** を選択します。

基本編集フォーマットまたは 3 つの編集フォーマットのうちの 1 つを読み取り決定します。合計 4 つの異なる編集フォーマットを保存することができます。基本編集フォーマットに対してプログラムする場合は、[プログラミングチャート](#) (169 ページ) より **0** を読み取ります。代替編集フォーマットに対してプログラムする場合は、対応した代替編集フォーマットの番号 (**1**、**2** または **3**) を [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。追加の情報は [基本/代替編集フォーマット](#) (79 ページ) を参照してください。

手順 3. **ターミナルタイプ**

[ターミナル ID テーブル](#) (75 ページ) を参照し、使用しているターミナル ID 番号を見つけます。ターミナル ID を [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より **3 つの数字** を読み取って入力します。ここでは、必ず 3 つの数字を入力する必要があります。例えば、USB 日本語キーボード (PC) では、**1 3 4** の順に 3 つの数字を読み取る必要があります。

注 対象となるターミナルタイプを限定せず、すべてのターミナルタイプに対してワイルドカードを指定する場合は、**0 9 9** を入力します。

手順 4. **コード ID**

159 ページから始まる [シンボルチャート](#) でデータ編集の対象としたいシンボルを見つけ、そのシンボルの 16 進値を [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

注 対象となるシンボルを限定せず、すべてのシンボルに対してワイルドカードを指定する場合は、**9 9** を入力します。

手順 5. **データ長**

このシンボルで許容可能とするデータ長 (最大 9,999 文字) を、[プログラミングチャート](#) (169 ページ) より **4 つの数字** を読み取って入力します。必ず 4 つの数字を入力する必要があります。たとえば 50 文字を許容したい場合は、**0 0 5 0** の順に 4 つの数字を読み取る必要があります。

注 **9 9 9 9** は汎用数字であり、すべてのデータ長を表しています。

手順 6. **編集コマンド**

データ編集コマンドを参照してください。入力したいコマンドを [プログラミングチャート](#) (169 ページ) より読み取って入力します。

手順 7. **保存** (74 ページ) を読み取って変更した編集フォーマットを保存するか、**破棄** (74 ページ) を読み取って変更を保存せずに終了します。



DFMBK3.

データ編集開始



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

## データ編集の消去

**1つの編集フォーマットを消去**は、特定の編集フォーマットを消去します。基本編集フォーマットを消去したい場合は、以下より**1つの編集フォーマットを消去**を読み取り、[プログラミングチャート](#)（169 ページ）から**0**を読み取ります。続けて**ターミナルタイプ**、**コード ID**、**データ長**を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）より読み取り、最後に**保存**を読み取ります。代替編集フォーマットを消去したい場合は、対応した代替編集フォーマットの番号（**1**、**2**または**3**）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）より読み取って入力します。

**すべての編集フォーマットを消去**は、すべての基本/代替編集フォーマットを消去します。消去したい場合は、以下より**すべての編集フォーマットを消去**を読み取り、続いて**保存**を読み取ります。



DFMCL3.

1つの編集フォーマットを消去



DFMCA3.

全ての編集フォーマットを消去



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

## ターミナル ID テーブル

ターミナル	モデル	ターミナル ID
IBM	USB SurePOS ハンドヘルドスキャナ	128
	USB SurePOS テーブルトップスキャナ	129
USB	USB キーボード (PC)	124
	USB キーボード (Mac)	125
	USB 日本語キーボード (PC)	134
	USB HID バーコード	131
	USB 仮想 COM	130
ターミナルタイプを限定しない		099

## データ編集コマンド

### 送信コマンド

#### すべての文字を送信する

- F1 現在のカーソルの場所から、すべてのデータを出し、最後に文字を挿入します。コマンド構文は、**F1xx**です。**xx**は最後に挿入される文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。**xx**は省略可能です。

#### 文字数を指定して送信する

- F2 現在のカーソルの場所から、指定した文字数分のデータを出し、最後に文字を挿入します。コマンド構文は、**F2nnxx**です。**nn**は出力する文字数です。**xx**は最後に挿入される文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。**xx**は省略可能です。

#### 特定の文字の場所までのすべての文字を送信する

- F3 現在のカーソルの場所から、特定の文字の前までのデータを出し、最後に文字を挿入します。コマンド構文は、**F3ssxx**です。**ss**は検索する特定の文字を 16 進数で表した値です。**xx**は最後に挿入される文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。**xx**は省略可能です。カーソルは、**ss**の直前に移動します。

#### 後方の文字を除いてすべての文字を送信する

- E9 現在のカーソルの場所から、後方の文字を除いたすべてのデータを出し、最後に文字を挿入します。コマンド構文は、**E9nnxx**です。**nn**は除外する後方の文字数 (0~99) です。**xx**は最後に挿入される文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。**xx**は省略可能です。カーソルは、出力されなかった文字の直前に移動します。

### 文字を複数回挿入する

- F4 現在のカーソルの場所へ、特定の文字を指定した回数挿入します。コマンド構文は、**F4xxnn**です。**xx**は挿入される文字を 16 進数で表した値です。**nn**は挿入する回数 (0～99) です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。**xx**は省略可能です。カーソルは、出力されなかった文字の直前に移動します。

## 移動コマンド

### カーソルを指定回数前方へ移動する

- F5 現在のカーソルの場所から、カーソルを指定した回数だけ末尾方向へ移動します。コマンド構文は、**F5nn**です。**nn**は移動する回数 (0～99) です。

### カーソルを指定した回数後方へ移動する

- F6 現在のカーソルの場所から、カーソルを指定した回数だけ先頭方向へ移動します。コマンド構文は、**F6nn**です。**nn**は移動する回数 (0～99) です。

### カーソルを先頭へ移動する

- F7 カーソルを入力データの先頭へ移動します。コマンド構文は、**F7**です。

### カーソルを末尾へ移動する

- EA カーソルを入力データの末尾へ移動します。コマンド構文は、**F8**です。

## 検索コマンド

### 前方の文字を検索する

- F8 現在のカーソルの場所から末尾方向へ特定の文字を検索し、最初に見つけた特定の文字の場所へカーソルを移動します。コマンド構文は、**F8xx**です。**xx**は検索する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 後方の文字を検索する

- F9 現在のカーソルの場所から先頭方向へ特定の文字を検索し、最初に見つけた特定の文字の場所へカーソルを移動します。コマンド構文は、**F9xx**です。**xx**は検索する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 前方の一致しない文字を検索する

- E6 現在のカーソルの場所から先頭方向へ特定の文字を検索し、最初に見つけた特定の文字以外の場所へカーソルを移動します。コマンド構文は、**E6xx**です。**xx**は検索する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 後方の一致しない文字を検索する

- E7 現在のカーソルの場所から末尾方向へ特定の文字を検索し、最初に見つけた特定の文字以外の場所へカーソルを移動します。コマンド構文は、**E7xx**です。**xx**は検索する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

## その他のコマンド

### 文字を消去する

- FB 他のコマンドのカーソル移動とあわせて、最大 15 の異なる文字をすべて消去します。**FC** コマンドにより中止します。コマンド構文は、**FBnnxxyy...zz**です。**nn**は消去する文字数です。**xxyy...zz**は消去する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 文字消去を中止する

- FC 文字消去コマンドを中止します。コマンド構文は、**FC** です。

### 文字を置換する

- E4 最大 15 文字を置き換えます。**E5** コマンドにより中止します。コマンド構文は、**E4nnxx<sub>1</sub>xx<sub>2</sub>yy<sub>1</sub>yy<sub>2</sub>...zz<sub>1</sub>zz<sub>2</sub>**です。**nn**は置換前と置換後の文字の合計です。**xx<sub>1</sub>**は置換前の文字を 16 進数で表した値です。**xx<sub>2</sub>**は置換後の文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 文字置換を中止する

- E5 文字置換コマンドを中止します。コマンド構文は、**E5** です。

### 文字を比較する

- FE 現在のカーソルの場所にある文字を特定の文字と比較し、等しい場合はカーソルを 1 つ移動させます。コマンド構文は、**FExx**です。**xx**は比較する文字を 16 進数で表した値です。162 ページから始まる [ASCII 変換チャート](#) の 10 進、16 進、文字コードを参照してください。

### 数字を確認する

- EC 現在のカーソルの場所にある文字を確認し、数字でない場合はデータ編集を中止します。コマンド構文は、**EC** です。

### 数字以外を確認する

- ED 現在のカーソルの場所にある文字を確認し、数字の場合はデータ編集を中止します。コマンド構文は、**ED** です。

### 遅延を挿入

- EF 現在のカーソルの場所から最大 49,995 ミリ秒（5 の倍数単位）の遅延を挿入します。コマンド構文は、**EFnnnn**です。**nnnn**は遅延時間で、最大 9999（5 ミリ秒単位）まで入力できます。このコマンドはキーボードエミュレーション時のみ有効です。

## データフォーマッター

**データフォーマッター無効**を選択した場合、読み取ったバーコードデータに対してデータ編集は行なわれずに、そのままの状態です出力されます。

**データフォーマッター有効**を選択した場合、読み取ったデータはデータ編集フォーマットに従って変更が加えられ、プリフィックス/サフィックスとあわせて送信されます。データ編集フォーマットに一致しないデータは、そのままの状態です送信されます。

**データフォーマッター有効 データ編集必須**を選択した場合、読み取ったデータはデータ編集フォーマットに従って変更が加えられ、プリフィックス/サフィックスとあわせて送信されます。データ編集フォーマットに一致しないデータはエラー音を鳴らして送信されません。

初期値 = データフォーマッター有効



データフォーマッター無効



データフォーマッター有効



データフォーマッター有効  
データ編集必須

## 基本/代替編集フォーマット

最大 4 つの編集フォーマットを保存し、切り替えることができます。以下のコードの 1 つを読み取ってデバイスで使用する編集フォーマットをセットします。

初期値 = 基本編集フォーマット



ALTFNM0.

基本編集フォーマット



ALTFNM1.

代替編集フォーマット 1



ALTFNM2.

代替編集フォーマット 2



ALTFNM3.

代替編集フォーマット 3

## 設定例：QR コードの 4 文字目から 4 文字を送信する

編集コマンド→ 0099739999F503F204

### コマンドの説明

#### 0|099|73|9999|F503|F204

基本フォーマットに保存するため『0』を指定します。

#### 0|099|73|9999|F503|F204

ターミナルタイプを限定しないため『099』を指定します。

#### 0|099|73|9999|F503|F204

編集を行なうシンボルを QR コードに限定するためシンボル ID に『73』を指定します。

#### 0|099|73|9999|F503|F204

データ長を限定しないため『9999』を指定します。

#### 0|099|73|9999|F503|F204

指定した文字数だけカーソルを進めます。前方移動コマンドの『F5』に続けて、3 文字進めるため『03』を指定します。カーソルを前方に 3 文字進めることで、4 文字目の直前にカーソルが移動します。下図の赤線がカーソル位置を表しています。

| 1234567890 → 123 | 4567890

#### 0|099|73|9999|F503|F204

現在のカーソル位置から指定した文字数だけ出力させます。文字数指定出力コマンドの『F2』に続けて、4 文字を出力するため『04』を指定します。

123 | 4567890 → 4567



## 設定例：すべてのカンマ（,）を TAB に変換する

編集コマンド→ 0099999999E4022C0BF1

### コマンドの説明

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

基本フォーマットに保存するため『0』を指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

ターミナルタイプを限定しないため『099』を指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

編集を行なうシンボルを限定しないためシンボル ID に『99』を指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

データ長を限定しないため『9999』を指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

文字を置換するため、文字置換コマンドの『E4』に続けて、置換対象の文字数 2 文字（置換前+置換後）の『02』を指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

文字置換コマンドに続いて、置換前の文字「カンマ」を ASCII 変換チャートの 16 進コード『2C』で指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

置換前の文字 に続いて、置換後の文字「TAB」を ASCII 変換チャートの 16 進コード『0B』で指定します。

**0|099|99|9999|E402|2C|0B|F1**

すべての対象となる文字を置換したあとに、すべての文字を送信するコマンド『F1』を指定します。

## 8.8. バーコードシンボル設定

### 全てのシンボル

スキャナで読取り可能な全てのバーコードシンボルを有効にしたいときは、**全シンボル 有効**を読み取ります。特定のバーコードシンボルだけを読み取りたい場合は、**全シンボル 無効**を読み取り、その後希望のバーコードシンボルの読取り設定を**有効**にします。



全シンボル 有効



全シンボル 無効

### 可読桁数について

本スキャナでは、いくつかのバーコードシンボルの読取り可能な桁数を設定することができます。もしも、読み取ったバーコードのデータ長が読取り可能な桁数と一致しない場合は、スキャナは読取りを行いません。**可読最小桁数**と**可読最大桁数**に同じ桁数を設定することで、スキャナに強制的に固定桁数のバーコードのみを読み取らせることが可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

**例：** 9 桁から 20 桁までのバーコードだけを読み取ります。

可読最小桁数=09、可読最大桁数=20

**例：** 15 桁のバーコードだけを読み取ります。

可読最小桁数=15、可読最大桁数=15

可読最小桁数と可読最大桁数を標準値から変更する場合は、希望のバーコードシンボルの説明項目へ移動し、その中の**可読最小桁数**または**可読最大桁数**を読み取ります。変更したい桁数を巻末の[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数値**バーコードから読取り、最後に**保存**バーコードを読み取ります。

可読最小桁数および可読最大桁数の標準値は、設定可能な各バーコードシンボルの説明項目に記載されています。

## Codabar (NW7)

### Codabar 初期化

Codabar (NW7) のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



Codabar 初期化

### Codabar 読取り有効/無効

Codabar (NW7) の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

### Codabar スタート/ストップ文字

Codabar (NW7) のデータの先頭と末尾に挿入されているスタート/ストップ文字の送信許可を設定します。スタート/ストップ文字は「A～D」の4つの文字です。

初期値 = 送信しない



送信する



送信しない

## Codabar チェックデジット

スキャナは、モジュラス 16 で作成されたチェックデジットが付加された Codabar のみを読み取るようプログラムすることができます。

**検査しない場合**、スキャナはチェックデジットの有無に関わらず読取り、すべてのデータを送信します。

**検査するが送信しない場合**、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Codabar のみを読取り、そのチェックデジットを除外したデータを送信します。

**検査し送信する場合**、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Codabar のみを読取り、そのチェックデジットを含めたデータを送信します。

初期値 = 検査しない



CBRCK20.

検査しない



CBRCK21.

検査するが送信しない



CBRCK22.

検査し送信する

## Codabar シンボル連結

Codabar はシンボル連結をサポートしています。シンボル連結が有効のとき、ストップ文字が「D」の Codabar と、スタート文字が「D」の Codabar がある場合、スキャナは隣接した Codabar を探し、シンボル連結できる場合は連結し、そうでない場合は単独の Codabar として読み取ります。2つの Codabar の文字列が連結された場合、「D」は省略されて送信されます。



「D」を持つ単独の Codabar の読み取りを防止するには、**必須**バーコードを読み取ります。この設定を行っても、「D」以外のスタート/ストップ文字を持つ Codabar には影響はありません。

初期値 = 無効



有効



無効



必須

## Codabar 連結タイムアウト

シンボル連結のために次のバーコードを探すまでの遅延を設定することができます。この遅延の時間を変更するには、以下のバーコードを読み取ってから設定したいタイムアウト（10～4,000 ミリ秒）を[プログラミングチャート](#)（169 ページ）の**数字**を使用して設定し、最後に**保存**を読み取ります。

初期値 = 800



連結タイムアウト

## Codabar 可読桁数

Codabar (NW7) の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

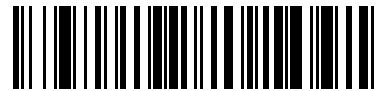
設定可能範囲 = 2 桁 ~ 60 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 60



CBRMIN.

可読最小桁数



CBRMAX.

可読最大桁数

## Code 39

### Code 39 初期化

Code 39 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



C39DFT.  
Code 39 初期化

### Code 39 読取り有効/無効

Code 39 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



C39ENA1.  
有効



C39ENA0.

無効

### Code 39 スタート/ストップ文字

Code 39 のデータの先頭と末尾に挿入されているスタート/ストップ文字の送信許可を設定します。スタート/ストップ文字は「\*」です。

初期値 = 送信しない



C39SSX1.

送信する



C39SSX0.

送信しない

## Code 39 チェックデジット

検査しない場合、スキャナはチェックデジットの有無に関わらず読取り、すべてのデータを送信します。

検査するが送信しない場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Code 39 のみを読取り、そのチェックデジットを除外したデータを送信します。

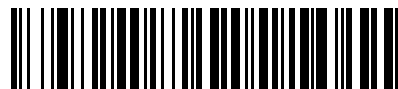
検査し送信する場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Code 39 のみを読取り、そのチェックデジットを含めたデータを送信します。

初期値 = 検査しない



C39CK20.

検査しない



C39CK21.

検査するが送信しない



C39CK22.

検査し送信する

## Code 39 可読桁数

Code 39 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 0 桁 ~ 48 桁

可読最小桁数初期値 = 0、可読最大桁数初期値 = 48



C39MIN.

可読最小桁数



C39MAX.

可読最大桁数



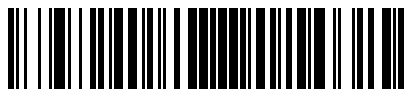
## Code 39 シンボル連結

この機能を有効にすると、Code 39 を連結して送信することができます。(スタート/ストップ文字を除いて) スペースから始まる Code 39 を読み取ると、スキャナはデータをすぐに送信せずに、スペースを削除してから、読み取った順番にバッファに保存します。そして、スペース以外から始まる Code 39 を読み取ると、データを読み取った順に送信します。(先入れ先出し)

注 バッファ保存中に異なる種類のバーコードシンボルを読み取った場合は、バッファのデータはクリアされます。

注 バッファ保存時、Good Read のインジケータは動作しません。

初期値 = 無効



C39APP1.

有効



C39APP0.

無効

## Code 39 フル ASCII

この機能が有効の場合、いくつかの文字は、2つの文字を組み合わせて1文字として解釈されます。例えば、「\$V」は制御文字の「SYN」としてデコードされ、「/C」は文字の「#」としてデコードされます。

フル ASCII 一覧表

NUL	%U	DLE	\$P	SP	SPACE	0	0	@	%V	P	P	`	%W	p	+P
SOH	\$A	DC1	\$Q	!	/A	1	1	A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
STX	\$B	DC2	\$R	“	/B	2	2	B	B	R	R	b	+B	r	+R
ETX	\$C	DC3	\$S	#	/C	3	3	C	C	S	S	c	+C	s	+S
EOT	\$D	DC4	\$T	\$	/D	4	4	D	D	T	T	d	+D	t	+T
ENQ	\$E	NAK	\$U	%	/E	5	5	E	E	U	U	e	+E	u	+U
ACK	\$F	SYN	\$V	&	/F	6	6	F	F	V	V	f	+F	v	+V
BEL	\$G	ETB	\$W	‘	/G	7	7	G	G	W	W	g	+G	w	+W
BS	\$H	CAN	\$X	(	/H	8	8	H	H	X	X	h	+H	x	+X
HT	\$I	EM	\$Y	)	/I	9	9	I	I	Y	Y	i	+I	y	+Y
LF	\$J	SUB	\$Z	*	/J	:	/Z	J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
VT	\$K	ESC	%A	+	/K	;	%F	K	K	[	%K	k	+K	{	%P
FF	\$L	FS	%B	,	/L	<	%G	L	L	¥	%L	l	+L		%Q
CR	\$M	GS	%C	-	-	=	%H	M	M	]	%M	m	+M	}	%R
SO	\$N	RS	%D	.	.	>	%I	N	N	^	%N	n	+N	~	%S
SI	\$O	US	%E	/	/O	?	%J	O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T



C39ASC1.

フル ASCII 有効



C39ASC0.

フル ASCII 無効

## Interleaved 2 of 5 (ITF)

### Interleaved 2 of 5 初期化

Interleaved 2 of 5 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



Interleaved 2 of 5 初期化

### Interleaved 2 of 5 読取り有効/無効

Interleaved 2 of 5 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

## Interleaved 2 of 5 チェックデジット

検査しない場合、スキャナはチェックデジットの有無に関わらず読取り、すべてのデータを送信します。

検査するが送信しない場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Interleaved 2 of 5 のみを読取り、そのチェックデジットを除外したデータを送信します。

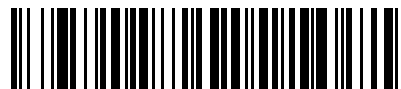
検査し送信する場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた Interleaved 2 of 5 のみを読取り、そのチェックデジットを含めたデータを送信します。

初期値 = 検査しない



I25CK20.

検査しない



I25CK21.

検査するが送信しない



I25CK22.

検査し送信する

## Interleaved 2 of 5 可読桁数

Interleaved 2 of 5 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 2 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 80



I25MIN.

可読最小桁数



I25MAX.

可読最大桁数

## NEC 2 of 5 (COOP 2 of 5 または 生協コード)

### NEC 2 of 5 初期化

NEC 2 of 5 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



N25DFT.  
NEC 2 of 5 初期化

### NEC 2 of 5 読取り有効/無効

NEC 2 of 5 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



N25ENA1.  
有効



N25ENA0.  
無効

## NEC 2 of 5 チェックデジット

検査しない場合、スキャナはチェックデジットの有無に関わらず読取り、すべてのデータを送信します。

検査するが送信しない場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた NEC 2 of 5 のみを読取り、そのチェックデジットを除外したデータを送信します。

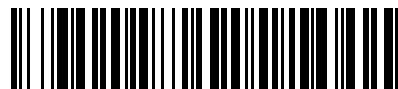
検査し送信する場合、スキャナは正しいチェックデジットがセットされた NEC 2 of 5 のみを読取り、そのチェックデジットを含めたデータを送信します。

初期値 = 検査しない



N25CK20.

検査しない



N25CK21.

検査するが送信しない



N25CK22.

検査し送信する

## NEC 2 of 5 可読桁数

NEC 2 of 5 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 2 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 80



N25MIN.

可読最小桁数



N25MAX.

可読最大桁数

## Code 93

### Code 93 初期化

Code 93 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



Code 93 初期化

### Code 93 読取り有効/無効

Code 93 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

### Code 93 可読桁数

Code 93 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 0 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 0、可読最大桁数初期値 = 80



可読最小桁数



可読最大桁数

## Code 93 シンボル連結

この機能を有効にすると、Code 93 を連結して送信することができます。(スタート/ストップ文字を除いて) スペースから始まる Code 93 を読み取ると、スキャナはデータをすぐに送信せずに、スペースを削除してから、読み取った順番にバッファに保存します。そして、スペース以外から始まる Code 93 を読み取ると、データを読み取った順に送信します。(先入れ先出し)

注 バッファ保存中に異なる種類のバーコードシンボルを読み取った場合は。バッファのデータはクリアされます。

初期値 = 無効



C93APP1.

有効



C93APP0.

無効



## Industrial 2 of 5

### Industrial 2 of 5 初期化

Industrial 2 of 5 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



R25DFT.

**Industrial 2 of 5 初期化**

### Industrial 2 of 5 読取り有効/無効

Industrial 2 of 5 の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



R25ENA1.

**有効**



R25ENA0.

**無効**

### Industrial 2 of 5 可読桁数

Industrial 2 of 5 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 48 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 48



R25MIN.

**可読最小桁数**



R25MAX.

**可読最大桁数**

## IATA 2 of 5

### IATA 2 of 5 初期化

IATA 2 of 5 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



A25DFT.

**IATA 2 of 5 初期化**

### IATA 2 of 5 読取り有効/無効

IATA 2 of 5 の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



A25ENA1.

**有効**



A25ENA0.

**無効**

### IATA 2 of 5 可読桁数

IATA 2 of 5 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 48 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 48



A25MIN.

**可読最小桁数**



A25MAX.

**可読最大桁数**

## Matrix 2 of 5

### Matrix 2 of 5 初期化

Matrix 2 of 5 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



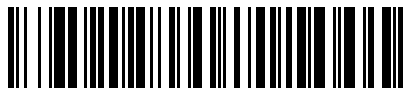
X25DFT.

**Matrix 2 of 5 初期化**

### Matrix 2 of 5 読取り有効/無効

Matrix 2 of 5 の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



X25ENA1.

**有効**



X25ENA0.

**無効**

### Matrix 2 of 5 可読桁数

Matrix 2 of 5 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 80



X25MIN.

**可読最小桁数**



X25MAX.

**可読最大桁数**

## Code 128

### Code 128 初期化

Code 128 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



Code 128 初期化

### Code 128 読取り有効/無効

Code 128 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

### ISBT 128 シンボル連結

The International Society of Blood Transfusion (ISBT)は、1994 年に、統一された方法で重要な血液情報をやりとりするための基準を批准しました。ISBT フォーマットの使用には、有料のライセンスが必要です。ISBT 128 アプリケーション仕様は次のように特徴付けられる。

1) 血液製剤のラベリング用の重要なデータ要素、2) 現在は高いセキュリティと効率のよいスペース設計のため Code 128 の使用を推奨、3) 隣り合ったシンボルの連結をサポートする Code 128 の変形、4) 血液製剤ラベルのバーコードのための基準レイアウト。

シンボル連結を使用するには、以下のバーコードを使用します。

標準値 = 無効



有効



無効

## Code 128 可読桁数

Code 128 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 0 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 0、可読最大桁数初期値 = 80



128MIN.

可読最小桁数



128MAX.

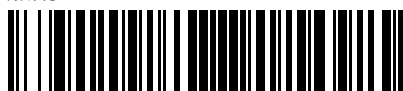
可読最大桁数

## Code 128 シンボル連結

この機能を有効にすると、Code 128 を連結して送信することができます。シンボル連結のトリガー文字 (FNC2) を含む Code 128 を読み取ると、スキャナはデータをすぐに送信せずに、読み取った順番にバッファに保存します。そして、トリガー文字を含まない Code 128 を読み取ると、データを読み取った順に送信します。(先入れ先出し)

注 バッファ保存中に異なる種類のバーコードシンボルを読み取った場合は、バッファのデータはクリアされます。

初期値 = 無効



128APP1.

有効



128APP0.

無効

## GS1-128

### GS1-128 初期化

GS1-128 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



GS1DFT.

**GS1-128 初期化**

### GS1-128 読取り有効/無効

GS1-128 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



GS1ENA1.

有効



GS1ENA0.

**無効**

### GS1-128 可読桁数

GS1-128 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 80



GS1MIN.

**可読最小桁数**



GS1MAX.

**可読最大桁数**

## UPC-A

### UPC-A 初期化

UPC-A のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



UPADFT.

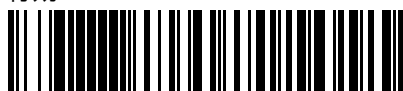
UPC-A 初期化

### UPC-A 読取り有効/無効

UPC-A の読取り許可を設定します。

注 UPC-A の読取りが無効の場合、UPC-A バーコードは EAN/JAN-13 として送信されます。

初期値 = 有効



UPAENA1.

有効



UPAENA0.

無効

### UPC-A チェックデジット

チェックデジットをバーコードデータの最後に送信するかどうかの選択を行ないます。

初期値 = 送信する



UPACKX1.

送信する



UPACKX0.

送信しない

## UPC-A ナンバーシステム

UPC シンボルのシステム番号は、通常バーコードデータの先頭に送信されますが、それを送信しないように設定できます。

初期値 = 送信する



UPANSX1.

送信する



UPANSX0.

送信しない

## UPC-A アドオンコード

すべての読み取った UPC-A データの最後に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを追加します。

初期値 = 2 桁アドオン無効、5 桁アドオン無効



UPAAD21.

2 桁アドオン有効



UPAAD20.

2 桁アドオン無効



UPAAD51.

5 桁アドオン有効



UPAAD50.

5 桁アドオン無効



## UPC-A アドオンコードの要求

**要求する**が選択されている場合、スキャナはアドオンコードを持った UPC-A バーコードのみを読み取ります。[UPC-A アドオンコード](#)（104 ページ）のリストから **2 桁または 5 桁アドオンコードを有効にする**必要があります。

初期値 = 要求しない



UPAARQ1.

**要求する**



UPAARQ0.

要求しない

## UPC-A アドオンコードセパレータ

この機能が**有効**の場合、バーコードデータとアドオンデータの間にスペース（空白）を追加します。**無効**の場合は、スペースは追加されません。

初期値 = 有効



UPAADS1.

有効



UPAADS0.

無効

## 拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用して拡張クーポンコード付きの UPC-A および EAN-13 を有効または無効に設定します。標準設定（**無効**）では、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを単一のバーコードとして扱います。

**連結許可**を選択した場合、スキャナは1度の読取りでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけると、それぞれ独立したシンボルとして両方を送信します。そうでない場合、読み取った最初のクーポンコードを送信します。

**連結必須**を選択した場合、スキャナは1度の読取りでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけなければいけません。両方のコードが読み取られなければデータは出力されません。

初期値 = 無効



CPNENA0.

無効



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

## クーポン GS1 DataBar 出力

UPC と GS1 DataBar の両方を持っているクーポンの GS1 DataBar コードのデータのみを読み取る必要がある場合、**GS1 出力有効**を選択することで、GS1 DataBar コードのみを読み取って出力することが出来ます。

初期値 = GS1 出力無効



CPNGS10.

GS1 出力無効



CPNGS11.

GS1 出力有効

## UPC-E

### UPC-E 初期化

UPC-E0 および UPC-E1 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



UPC-E 初期化

### UPC-E0 読取り有効/無効

ほとんどの UPC バーコードは0（ゼロ）ナンバーシステムで始まります。これらのコードを読みとるため **UPC-E0 有効**を選択します。1 ナンバーシステムからはじまるコードの読取りが必要な場合は、[UPC-E1 読取り有効/無効](#)（107 ページ）を使用してください。

初期値 = UPC-E0 有効



UPC-E0 有効



UPC-E0 無効

### UPC-E1 読取り有効/無効

ほとんどの UPC バーコードは0（ゼロ）ナンバーシステムで始まります。これらのコードは [UPC-E0 読取り有効/無効](#)（107 ページ）を使用します。1 ナンバーシステムからはじまるコードの読取りが必要な場合は、**UPC-E1 有効**を選択します。

初期値 = UPC-E1 無効



UPC-E1 有効

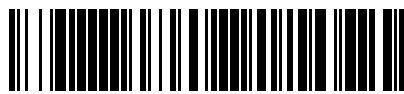


UPC-E1 無効

## UPC-E 拡張

この機能は、UPC-E コードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。

初期値 = 拡張しない



UPEEXP1.

拡張する



UPEEXP0.

拡張しない

## UPC-E チェックデジット

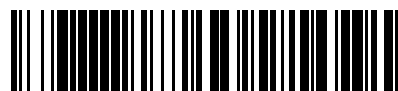
チェックデジットをバーコードデータの最後に送信するかどうかの選択を行ないます。

初期値 = 送信する



UPECKX1.

送信する



UPECKX0.

送信しない

## UPC-E ナンバーシステム

UPC シンボルのシステム番号は、通常バーコードデータの先頭に送信されますが、それを送信ないように設定できます。

初期値 = 送信する



UPENSX1.

送信する



UPENSX0.

送信しない

## UPC-E アドオンコード

すべての読み取った UPC-E データの最後に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを追加します。

初期値 = 2 桁アドオン無効、5 桁アドオン無効]



2 桁アドオン有効



2 桁アドオン無効



5 桁アドオン有効



5 桁アドオン無効

## UPC-E アドオンコードの要求

要求するが選択されている場合、スキャナはアドオンコードを持った UPC-E バーコードのみを読み取ります。[UPC-E アドオンコード](#) (109 ページ) のリストから **2 桁または 5 桁アドオンコードを有効にする** 必要があります。

初期値 = 要求しない



要求する



要求しない

## UPC-E アドオンコードセパレータ

この機能が**有効**の場合、バーコードデータとアドオンデータの間にスペース（空白）を追加します。**無効**の場合は、スペースは追加されません。

初期値 = 有効



有効



無効

## EAN/JAN-13

### EAN/JAN-13 初期化

EAN/JAN-13 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



E13DFT.  
EAN/JAN-13 初期化

### EAN/JAN-13 読取り有効/無効

EAN/JAN-13 の読取り許可を設定します。

注 0 (ゼロ) から始まる EAN/JAN-13 を 13 桁のまま読み取りたい場合、[UPC-A 読取り有効/無効](#) (103 ページ) を無効に設定してください。

初期値 = 有効



E13ENA1.  
有効



E13ENA0.  
無効

### EAN/JAN-13 チェックデジット

チェックデジットをバーコードデータの最後に送信するかどうかの選択を行ないます。

初期値 = 送信する



E13CKX1.  
送信する



E13CKX0.  
送信しない

## EAN/JAN-13 アドオンコード

すべての読み取った EAN/JAN-13 データの最後に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを追加します。

初期値 = 2 桁アドオン無効、5 桁アドオン無効



2 桁アドオン有効



2 桁アドオン無効



5 桁アドオン有効



5 桁アドオン無効

## EAN/JAN-13 アドオンコードの要求

要求するが選択されている場合、スキャナはアドオンコードを持った EAN/JAN-13 バーコードのみを読み取ります。[EAN/JAN-13 アドオンコード](#) (112 ページ) のリストから **2 桁または 5 桁アドオンコードを有効にする必要があります。**

初期値 = 要求しない



要求する



要求しない



## EAN/JAN-13 アドオンコードセパレータ

この機能が有効の場合、バーコードデータとアドオンデータの間にスペース（空白）を追加します。無効の場合は、スペースは追加されません。

初期値 = 有効



E13ADS1.

有効



E13ADS0.

無効

注 拡張クーポンコード付き EAN-13 の有効/無効を行ないたい場合、[拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13](#) (106 ページ) を参照してください。

## ISBN 変換

有効の場合、EAN-13 Bookland シンボルは同等の ISBN ナンバー形式に変換されます。

初期値 = 無効



E13ISB1.

有効



E13ISB0.

無効

## EAN/JAN-8

### EAN/JAN-8 初期化

EAN/JAN-8 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



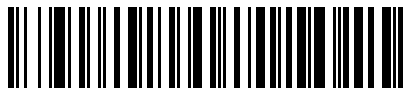
EA8DFT.

**EAN/JAN-8 初期化**

### EAN/JAN-8 読取り有効/無効

EAN/JAN-8 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



EA8ENA1.

有効



EA8ENA0.

**無効**

### EAN/JAN-8 チェックデジット

チェックデジットをバーコードデータの最後に送信するかどうかの選択を行ないます。

初期値 = 送信する



EA8CKX1.

送信する



EA8CKX0.

**送信しない**

## EAN/JAN-8 アドオンコード

すべての読み取った EAN/JAN-8 データの最後に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを追加します。

初期値 = 2 桁アドオン無効、5 桁アドオン無効



2 桁アドオン有効



2 桁アドオン無効



5 桁アドオン有効



5 桁アドオン無効

## EAN/JAN-8 アドオンコードの要求

要求するが選択されている場合、スキャナはアドオンコードを持った EAN/JAN-8 バーコードのみを読み取ります。[EAN/JAN-8 アドオンコード](#)（115 ページ）のリストから 2 桁または 5 桁アドオンコードを有効にする必要があります。

初期値 = 要求しない



要求する



要求しない

## EAN/JAN-8 アドオンコードセパレータ

この機能が有効の場合、バーコードデータとアドオンデータの間にスペース（空白）を追加します。無効の場合は、スペースは追加されません。

初期値 = 有効



EA8ADS1.

有効



EA8ADS0.

無効

## MSI

### MSI 初期化

MSI のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



MSIDFT.

**MSI 初期化**

### MSI 読取り有効/無効

MSI の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



MSIENA1.

**有効**



MSIENA0.

**無効**

## MSI チェックデジット

MSI バーコードは 1 桁また 2 桁の異なるタイプのチェックデジットを使用します。

**2 桁 MOD10/11 検査し送信する場合**、スキャナは 2 桁 MOD10/11 のチェックデジットがセットされた MSI バーコードのみを読み取り、そのチェックデジットを含めたデータを送信します。

**2 桁 MOD10/11 検査するが送信しない場合**、スキャナは 2 桁 MOD10/11 のチェックデジットがセットされた MSI バーコードのみを読み取り、そのチェックデジットを除外したデータを送信します。

初期値 = 1 桁 MOD10 検査するが送信しない



1 桁 MOD10 検査するが送信しない



1 桁 MOD10 検査し送信する



2 桁 MOD10/10 検査するが送信しない



2 桁 MOD10/10 検査し送信する



2 桁 MOD10/11 検査するが送信しない



2 桁 MOD10/11 検査し送信する



検査しない

## MSI 可読桁数

MSI の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 4 桁 ~ 48 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 48



MSIMIN.

可読最小桁数



MSIMAX.

可読最大桁数

## GS1 DataBar Omnidirectional

### GS1 DataBar Omnidirectional 初期化

GS1 DataBar Omnidirectional のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



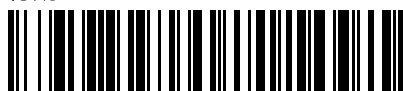
RSSDFT.

### GS1 DataBar Omnidirectional 初期化

### GS1 DataBar Omnidirectional 読取り有効/無効

GS1 DataBar Omnidirectional の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



RSSENA1.

有効



RSSENA0.

無効



## GS1 DataBar Limited

### GS1 DataBar Limited 初期化

GS1 DataBar Limited のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



**GS1 DataBar Limited 初期化**

### GS1 DataBar Limited 読取り有効/無効

GS1 DataBar Limited の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

## GS1 DataBar Expanded

### GS1 DataBar Expanded 初期化

GS1 DataBar Expanded のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



GS1 DataBar Expanded 初期化

### GS1 DataBar Expanded 読取り有効/無効

GS1 DataBar Expanded の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



無効

### GS1 DataBar Expanded 可読桁数

GS1 DataBar Expanded の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 4 桁 ~ 74 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 74



可読最小桁数



可読最大桁数

## Codablock A

### Codablock A 初期化

Codablock A のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。

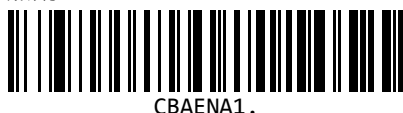


**Codablock A 初期化**

### Codablock A 読取り有効/無効

Codablock A の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



**有効**



**CBAENA0.**

**無効**

### Codablock A 可読桁数

Codablock A の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 600 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 600



**可読最小桁数**



**CBAMAX.**

**可読最大桁数**

## Codablock F

### Codablock F 初期化

Codablock F のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。

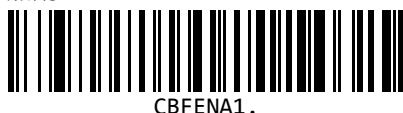


Codablock F 初期化

### Codablock F 読取り有効/無効

Codablock F の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



有効



CBFENA0.

無効

### Codablock F 可読桁数

Codablock F の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 2048 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 2048



可読最小桁数



CBFMAX.

可読最大桁数

## PDF417

### PDF417 初期化

PDF417 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。

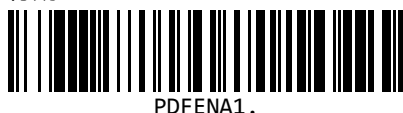


PDFDFT.  
PDF417 初期化

### PDF417 読取り有効/無効

PDF417 の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



PDFENA1.  
有効



PDFENA0.

無効

### PDF417 可読桁数

PDF417 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 2750 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 2750



PDFMIN.  
可読最初桁数



PDFMAX.

可読最大桁数

## マクロ PDF417 読取り有効/無効

マクロ PDF417 は、1 つの PDF417 では表現できないような大量のデータを複数の PDF417 に分割して表現します。この機能が有効のとき、分割された PDF417 を読み取って 1 つのデータとしてエンコードします。

初期値 = 有効



有効



PDFMAC0.

無効

## MicroPDF417

### MicroPDF417 初期化

MicroPDF417 のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



MicroPDF417 初期化

### MicroPDF417 読取り有効/無効

MicroPDF417 の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



有効



MPDENA0.

無効

### MicroPDF417 可読桁数

MicroPDF417 の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 366 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 366



可読最小桁数



MPDMAX.

可読最大桁数

## GS1 合成シンボル（CC-A、CC-B、CC-C）

特定の 1 次元コードと 2 次元コードを組み合わせることで GS1 合成シンボルを形成します。

### GS1 合成シンボル 読取り有効/無効

GS1 合成シンボルの読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



COMENA1.

有効



COMENA0.

無効

### UPC/EAN バージョン

UPC または EAN バーコードを含む GS1 合成シンボルをデコードするために、この機能を有効にします。

（これは、GS1-128 や GS1 DataBar 系を含む GS1 合成シンボルには影響を与えません。）

初期値 = 無効



COMUPC1.

有効



COMUPC0.

無効

注 UPC と GS1 DataBar の両方を持っているクーポンの GS1 DataBar コードのデータのみを読み取る必要がある場合は、[クーポン GS1 DataBar 出力](#)（106 ページ）をご覧ください。



## GS1 合成シンボル 可読桁数

GS1 合成シンボルの読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 2435 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 2435



可読最小桁数



可読最大桁数

## GS1 エミュレーション

スキャナは、任意の GS1 データキャリアから GS1-128 または GS1 DataBar 相当にエンコード。GS1 データキャリアは UPC-A、UPC-E、EAN/JAN-13、EAN/JAN-8、ITF-14、GS1-128、GS1 DataBar および GS1 合成シンボルを含みます。

(1つのデータキャリアタイプを認識するだけなので、GS1 データを引き受けるアプリケーションは単純化することができます。)

**GS1-128 エミュレーション**の場合、すべての小売りコード (UPC、UPC-E、EAN/JAN-8、EAN/JAN-13) は 16 桁に拡張されます。AIM ID が有効の場合、その値は GS1-128 の AIM ID である「J C1」(159 ページの [シンボルチャート](#) 参照) となります。

**GS1 DataBar エミュレーション**の場合、すべての小売りコード (UPC、UPC-E、EAN/JAN-8、EAN/JAN-13) は 16 桁に拡張されます。AIM ID が有効の場合、その値は GS1 DataBar の AIM ID である「em」(159 ページの [シンボルチャート](#) 参照) となります。

**GS1 コード 拡張無効**の場合、小売りコードの拡張は無効となり、UPC-E の拡張は [UPC-E 拡張](#) (108 ページ) 設定によって制御されます。AIM ID が有効の場合、その値は GS1-128 の AIM ID である「J C1」(159 ページの [シンボルチャート](#) 参照) となります。

**EAN/JAN-8 を EAN/JAN-13 に変換**の場合、すべての EAN/JAN-8 バーコードは EAN/JAN-13 の形式に変換されます。

初期値 = GS1 エミュレーション 無効



**GS1-128 エミュレーション**



**GS1 DataBar エミュレーション**



**GS1 コード 拡張無効**



**EAN/JAN-8 を EAN/JAN-13 に変換**



**GS1 エミュレーション 無効**

## TCIF Linked Code39 (TLC39) の読取り有効/無効

このコードは、Code 39 コード部分と MicroPDF スタックコード部分を持つ合成コードです。スキャナは Code 39 コード部分を読みますが、MicroPDF 部分は、この機能が**有効**の場合のみ読み取ります。1 次元コード部分はこの機能が**無効**でも Code 39 として読取りができます。

初期値 = 無効



T39ENA1.

**有効**



T39ENA0.

**無効**

## QR コード

### QR コード 初期化

QR コードのすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



QRCDFT.

QR コード 初期化

### QR コード 読取り有効/無効

QR コードの読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



QRCENA1.

有効



QRCENA0.

無効

### QR コード 可読桁数

QR コードの読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 7089 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 7089



QRCMIN.

可読最小桁数



QRCMAX.

可読最大桁数

## QR コード シンボル連結

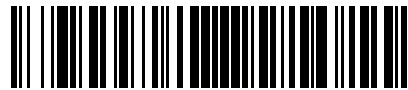
この機能を有効にすると、ホストコンピュータに送信する前に複数の QR コードのデータを連結します。スキャナは連結用のトリガ文字を含む QR コードを見つけると、含まれる情報によって決められた数の QR コードを一時的に保存します。QR コードの数が適切な数に達すると、データは規定の順番で送信されます。

初期値 = 有効



QRCAPP1.

有効



QRCAPP0.

無効

## Data Matrix

### Data Matrix 初期化

Data Matrix のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



**Data Matrix 初期化**

### Data Matrix 読取り有効/無効

Data Matrix の読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



**無効**

### Data Matrix 可読桁数

Data Matrix の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#) (82 ページ) を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 3116 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 3116



**可読最小桁数**



**可読最大桁数**

## Aztec コード

### Aztec コード 初期化

Aztec コードのすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



Aztec コード 初期化

### Aztec コード 読取り有効/無効

Aztec コードの読取り許可を設定します。

初期値 = 有効



有効



AZTENA0.

無効

### Aztec コード 可読桁数

Aztec コードの読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は可読桁数について（13 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 3832 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 3832



AZTMIN.

可読最小桁数



AZTMAX.

可読最大桁数

## Aztec コード シンボル連結

この機能を有効にすると、ホストコンピュータに送信する前に複数の Aztec コードのデータを連結します。スキャナは連結用のトリガ文字を含む Aztec コードを見つけると、含まれる情報によって決められた数の Aztec コードを一時的に保存します。Aztec コードの数が適切な数に達すると、データは規定の順番で送信されます。

初期値 = 無効



有効



無効



## Han Xin コード

### Han Xin コード 初期化

Han Xin コードのすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。

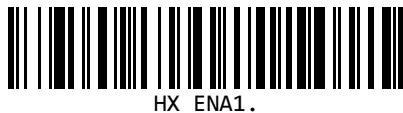


HX\_DFT.  
Han Xin 初期化

### Han Xin コード 読取り有効/無効

Han Xin コードの読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



HX\_ENA1.  
有効



HX\_ENA0.  
無効

### Han Xin コード 可読桁数

Han Xin コードの読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 1 桁 ~ 7833 桁

可読最小桁数初期値 = 1、可読最大桁数初期値 = 7833



HX\_MIN.  
可読最小桁数



HX\_MAX.  
可読最大桁数

## 郵便コード（1次元）

### China Post (Hong Kong 2 of 5) 初期化

China Post のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。

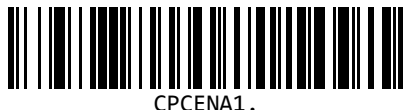


China Post 初期化

### China Post (Hong Kong 2 of 5) 読取り有効/無効

China Post の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



有効



CPCENA0.

無効

### China Post (Hong Kong 2 of 5) 可読桁数

China Post の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は[可読桁数について](#)（82 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 2 桁 ~ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 80



可読最小桁数



CPCMAX.

可読最大桁数

## Korea Post 初期化

Korea Post のすべての設定を初期化するには、次のバーコードを読み取ります。



KPCDFT.

**Korea Post 初期化**

## Korea Post 読取り有効/無効

Korea Post の読取り許可を設定します。

初期値 = 無効



KPCENA1.

**有効**



KPCENA0.

**無効**

## Korea Post 可読桁数

Korea Post の読取り可能な桁数を以下のバーコードを使用して設定します。設定方法は可読桁数について（13 ページ）を参照してください。

設定可能範囲 = 2 桁 ～ 80 桁

可読最小桁数初期値 = 4、可読最大桁数初期値 = 48



KPCMIN.

**可読最小桁数**



KPCMAX.

**可読最大桁数**

## Korea Post チェックデジット

チェックデジットをバーコードデータの最後に送信するかどうかの選択を行ないます。

初期値 = 送信しない



KPCCHK1.

送信する



KPCCHK0.

送信しない

## 9. シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドはプログラミングバーコードとして使用することができます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードのどちらもスキャナを設定します。各シリアルプログラミングコマンドの詳細と使用例はこのマニュアル内の各プログラミングバーコードを参照してください。

シリアルプログラミングコマンドを使用するには、スキャナは [USB 仮想 COM エミュレーション](#) (33 ページ) で適切に動作している必要があります。以下のコマンドは、PC の COM ポートを経由し、ターミナルエミュレーションソフトウェアを使用して送信することができます。

注 ターミナルエミュレーションソフトウェア（シリアル通信プログラム）は、お客様ご自身でご準備いただく必要がございます。弊社提供の RSWedge™ Unitech 版はシリアルコマンドの送信に対応していないため、本機能を使用することはできません。

### 本項目内の語句

以下の語句は、メニューと問合せコマンドの詳細です：

パラメータ	コマンドの一部として送信される実際の値。
[オプション]	任意コマンドの一部
{データ}	コマンドの選択肢
太字	メニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、画面に表示されるウィンドウ。

### メニューコマンドの構文

メニューコマンドは以下の構文（スペースは見やすくするために使用されています）を持っています：

プリフィックス タグ サブタグ {データ} [, サブタグ {データ}] [: タグ サブタグ {データ}] [...] 保存方法

プリフィックス 3 つの ASCII 文字で構成されます = **SYN M CR** (16 進：0x16, 0x4d, 0x0d)

タグ ターゲットのメニューコマンドグループである 3 文字の ID フィールド。シリアルコマンドの前から 3 文字です。例えば Code39 のタグは **C39** です。

サブタグ ターゲットのタググループのメニューコマンドである 3 文字の ID フィールド。タグの次から始まる 3 文字です。例えば Code39 の読取り有効/無効は **ENA** です。

データ タグおよびサブタグに対して設定する新しい値です。

保存 設定の保存方法を定める 1 文字のコマンドです。感嘆符 (!) は、スキャナの揮発性メモリに設定を一時的に保存し、スキャナの電源が切れるまで設定を保持します。ピリオド (.) は、スキャナの不揮発性メモリに設定を保存し、恒久的に設定を保持します。

## 問合せコマンド

いくつかの特別な文字はスキャナに設定を問い合わせるために使用されます。

- ^     設定の初期値を問い合わせます。
- ?     スキャナの現在の設定値を問い合わせます。
- \*     可能な範囲の設定値を問い合わせます。スキャナはダッシュ（—）を使用して連続した値の範囲を示します。パイプ（|）区切りのアイテムは連続していない値のリストです。

### タグフィールドでの使用法

タグフィールドの場所でこれらの問合せコマンドをタグの代わりに使用すると、保存フィールドで指定した保存テーブルで使用可能なすべてのコマンドに対して問合せを行います。この場合は、サブタグとデータフィールドを使用しないでください。スキャナによって無視されます。

### サブタグフィールドでの使用法

サブタグフィールドの場所でこれらの問合せコマンドをサブタグの代わりに使用すると、タグフィールドに一致するサブセットのすべてのコマンドに対して問合せを行います。この場合、データフィールドは使用しないでください。スキャナによって無視されます。

### データフィールドでの使用法

データフィールドの場所でこれらの問合せコマンドをデータの代わりに使用すると、タグとサブタグのフィールドに一致する特定のコマンドに対して問合せを行います。

### 複数のコマンドを連結する

複数のコマンドは1つのプリフィックス/保存シーケンス内で使用することができます。シーケンス内で各コマンドのタグ、サブタグ、データのフィールドだけを繰り返します。同じタグに追加コマンドを適用したい場合は、新しいコマンドシーケンスはカンマ（,）で区切り、追加コマンドのサブタグとデータのフィールドだけを使用します。もしも、追加のコマンドが異なるタグフィールドを必要とする場合は、コマンドシーケンスはセミコロン（;）によって直前のコマンドと区切られます。

### スキャナからの応答

スキャナは3つのうちの1つでシリアルコマンドに応答します。

- ACK**     正常にコマンドが処理されたことを示します。
- ENQ**     タグまたはサブタグコマンドが無効であることを示します。
- NAK**     コマンドは正しいが、データフィールドの値がタグおよびサブタグの組み合わせで使用可能な範囲外であることを示します。たとえば、2文字しか許可されていないデータフィールドに100のような3文字の値を入力した場合などです。

応答するときに、スキャナはコマンドのそれぞれの句読点（ピリオド、感嘆符、カンマ、セミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスをエコーバックします。

## コマンドの組み合わせ例

以下の例で、括弧 [ ] 付きの文字は画面に表示されない応答です。

例： Codabar の読取り有効/無効の設定可能範囲を問い合わせる。  
 入力： SYN M CR cbrena\*.  
 入力(16進)： 0x16, 0x4d, 0x0d, 0x63, 0x62, 0x72, 0x65, 0x6e, 0x61, 0x2a, 0x2e  
 応答： **CBRENA0-1[ACK]**

この応答は Codabar の読取り有効/無効 (CBRENA) に 0 (無効) から 1 (有効) の範囲で設定が可能であることを示しています。

例： Codabar の読取り有効/無効の標準の設定値を問い合わせる。  
 入力： SYN M CR cbrena^.  
 入力(16進)： 0x16, 0x4d, 0x0d, 0x63, 0x62, 0x72, 0x65, 0x6e, 0x61, 0x5e, 0x2e  
 応答： **CBRENA1[ACK]**

この応答は Codabar の読取り有効/無効 (CBRENA) の標準設定が 1 (有効) であることを示しています。

例： Codabar の読取り有効/無効の現在の設定値を問い合わせる。  
 入力： SYN M CR cbrena?..  
 入力(16進)： 0x16, 0x4d, 0x0d, 0x63, 0x62, 0x72, 0x65, 0x6e, 0x61, 0x3f, 0x2e  
 応答： **CBRENA1[ACK]**

この応答は Codabar の読取り有効/無効 (CBRENA) のスキャナに保存されている現在の設定が 1 (有効) であることを示しています。

例： Codabar セクションのすべての設定を問い合わせる。  
 入力： SYN M CR cbr?..  
 入力(16進)： 0x16, 0x4d, 0x0d, 0x63, 0x62, 0x72, 0x3f, 0x2e  
 応答： **CBRDFT[ACK],**  
**ENA1[ACK],**  
**SSX0[ACK],**  
**CK20[ACK],**  
**CCT0[ACK],**  
**MIN4[ACK],**  
**MAX60[ACK],**  
**VOT0[ACK]**

この応答はスキャナに保存されている Codabar の各設定の値を示しています。

## メニューコマンド

セクション	設定値	コマンド	ページ
システム設定			
カスタムデフォルト	カスタム標準 設定	MNUCDP	27
	カスタム標準 保存	MNUCDS	27
	カスタムデフォルト起動	DEFAULT	27
	カスタムデフォルトの削除	DEFOVR	28
バージョン表示	デコーダバージョン表示	REV_DR	28
	スキャンドライババージョン表示	REV_SD	28
	ソフトウェアバージョン表示	REFINF	28
テストメニュー	*無効	TSTMNU0	29
	有効	TSTMNU1	29
インターフェース設定			
キーボードウェッジ	IBM PC/AT 互換機 CR サフィックス付き	PAP_AT	30
	ラップトップ直接接続 CR サフィックス付き	PAPLTD	30
USB IBM SurePos	USB IBM SurePos ハンドヘルド	PAPSPH	31
	USB IBM SurePos テーブルトップ	PAPSPT	31
USB PC またはマッキントッシュキーボード	USB キーボード (PC) CR サフィックス付き	PAP124	32
	USB キーボード (Mac) CR サフィックス付き	PAP125	32
	USB 日本語キーボード (PC)	TERMID134	32
USB HID	USB HID バーコードスキャナ	PAP131	32
USB 仮想 COM エミュレーション (USB シリアル)	USB 仮想 COM エミュレーション	TERMID130	33
CTS/RTS エミュレーション	有効	USBCTS1	33
	*無効	USBCTS0	33
ACK/NAK モード	有効	USBACK1	33
	*無効	USBACK0	33
キーボードレイアウト	*アメリカ	KBDCTY0	34
	日本	KBDCTY28	34
	アメリカ (Dvorak 配列)	KBDCTY87	34
	アメリカ (左利き用 Dvorak 配列)	KBDCTY88	34



アメリカ（右利き用 Dvorak 配列）	KBDCTY89	34
アメリカ（インターナショ ナル配列）	KBDCTY30	34
アルバニア	KBDCTY35	34
アゼルバイジャン（キリル 文字）	KBDCTY81	34
アゼルバイジャン（ラテン 文字）	KBDCTY80	34
ベラルーシ	KBDCTY82	35
ベルギー	KBDCTY1	35
ボスニア	KBDCTY33	35
ブラジル	KBDCTY16	35
ブラジル（US）	KBDCTY59	35
ブルガリア（キリル文字）	KBDCTY52	35
ブルガリア（ラテン文字）	KBDCTY53	35
カナダ（フランス語 Legacy）	KBDCTY54	35
カナダ（フランス語）	KBDCTY18	35
カナダ（マルチリンガル標 準）	KBDCTY55	35
クロアチア	KBDCTY32	36
チェコ	KBDCTY15	36
チェコ（プログラマ）	KBDCTY40	36
チェコ（QWERTY 配列）	KBDCTY39	36
チェコ（QWERTZ 配列）	KBDCTY38	36
デンマーク	KBDCTY8	36
オランダ	KBDCTY11	36
エストニア	KBDCTY41	36
フェロー語	KBDCTY83	36
フィンランド	KBDCTY2	36
フランス	KBDCTY3	37
ゲール語	KBDCTY84	37
ドイツ	KBDCTY4	37
ギリシャ	KBDCTY17	37
ギリシャ（220 ラテン）	KBDCTY64	37
ギリシャ（220）	KBDCTY61	37
ギリシャ（319 ラテン）	KBDCTY65	37
ギリシャ（319）	KBDCTY62	37
ギリシャ（ラテン）	KBDCTY63	37
ギリシャ（US）	KBDCTY66	37
ギリシャ（Plytonic）	KBDCTY60	38
ヘブライ語	KBDCTY12	38

ハンガリー (101 キーボード)	KBDCTY50	38
ハンガリー	KBDCTY19	38
アイスランド	KBDCTY75	38
アイルランド	KBDCTY73	38
イタリア (142)	KBDCTY56	38
イタリア	KBDCTY5	38
カザフスタン	KBDCTY78	38
カザフスタン (キリル文字)	KBDCTY79	38
ラテンアメリカ	KBDCTY14	39
ラトビア	KBDCTY42	39
ラトビア (QWERTY 配列)	KBDCTY43	39
リトアニア	KBDCTY44	39
リトアニア (IBM)	KBDCTY45	39
マケドニア	KBDCTY34	39
マルタ	KBDCTY74	39
モンゴル (キリル文字)	KBDCTY86	39
ノルウェー	KBDCTY9	39
ポーランド	KBDCTY20	39
ポーランド (214)	KBDCTY57	40
ポーランド (プログラマ)	KBDCTY58	40
ポルトガル	KBDCTY13	40
ルーマニア	KBDCTY25	40
ロシア	KBDCTY26	40
ロシア (US)	KBDCTY67	40
ロシア (タイプライター)	KBDCTY68	40
SCS	KBDCTY21	40
セルビア (キリル文字)	KBDCTY37	40
セルビア (ラテン文字)	KBDCTY36	40
スロバキア	KBDCTY22	41
スロバキア (QWERTY 配列)	KBDCTY49	41
スロバキア (QWERTZ 配列)	KBDCTY48	41
スロベニア	KBDCTY31	41
スペイン	KBDCTY10	41
スペイン (バリエーション)	KBDCTY51	41
スウェーデン	KBDCTY23	41
スイス (フランス語)	KBDCTY29	41
スイス (ドイツ語)	KBDCTY6	41

	タタール語	KBDCTY85	41
	トルコ語 F	KBDCTY27	42
	トルコ語 Q	KBDCTY24	42
	ウクライナ	KBDCTY76	42
	イギリス	KBDCTY7	42
	ウズベキスタン (キリル文字)	KBDCTY77	42
キーボードスタイル	*レギュラー	KBDSTY0	43
	Caps Lock	KBDSTY1	43
	Shift Lock	KBDSTY2	43
	自動 Caps Lock	KBDSTY6	43
大文字・小文字変換	*変換しない	KBDCNV0	44
	すべて大文字に変換する	KBDCNV1	44
	すべて小文字に変換する	KBDCNV2	44
制御文字出力	*無効	KBDNPE0	44
	有効	KBDNPE1	44
キーボード出力の変更	*Control + ASCII モード 無効	KBDCAS0	45
	DOS モードの Control + ASCII モード有効	KBDCAS1	45
	Windows モードの Control + ASCII モード有効	KBDCAS2	45
	Windows モードの プリフィックス/サフィックス無効	KBDCAS3	45
	*ターボモード無効	KBDTMD0	46
	ターボモード有効	KBDTMD1	46
	*テンキーモード無効	KBDNPS0	46
	テンキーモード有効	KBDNPS1	46
	*自動直接接続モード無効	KBDADC0	46
	自動直接接続モード有効	KBDADC1	46
デッドキー出力	無効	KBDALT0	47
	Windows CP1252	KBDALT1	47
	DOS CP437	KBDALT2	47
	Unicode (ISO/IEC 10646-1)	KBDALT3	47
	Windows システム CP	KBDALT4	47
	DOS システム CP	KBDALT5	47
入出力設定			
電源投入時のビープ音	無効	BEPPWRO	48
	*有効	BEPPWR1	48

[BEL]文字とビープ音	*[BEL]文字を使用しない	BELBEP0	48
	[BEL]文字を使用する	BELBEL1	48
トリガークリック音	*無効	BEPTRG0	49
	有効	BEPTRG1	49
読取り成功			
ビープ音 鳴動	無効	BEPBEP0	50
	*有効	BEPBEP1	50
ビープ音 音量	小	BEPLVL1	50
	中	BEPLVL2	50
	*大	BEPLVL3	50
	なし	BEPLVL0	50
ビープ音 音程	低 (1600 Hz)	BEPFQ11600	51
	*中 (2400 Hz)	BEPFQ12400	51
	高 (4200 Hz)	BEPFQ14200	51
ビープ音 鳴動時間	*標準	BEPBIP0	52
	短い	BEPBIP1	52
LED 明滅	*有効	BEPLD1	52
	無効	BEPLD0	52
ビープ音 鳴動回数	*1 回	BEPRPT1	52
	範囲 1-9	BEPRPT#	52
エラー			
ビープ音 音程	*低 (250Hz)	BEPFQ2250	51
	中 (3250 Hz)	BEPFQ23250	51
	高 (4200 Hz)	BEPFQ4200	51
ビープ音 鳴動回数	*1 回	BEPERR1	53
	範囲 0-9	BEPERR#	53
読取り遅延	*遅延無し	DLYGRD0	53
	500 ミリ秒	DLYGRD500	53
	1,000 ミリ秒	DLYGRD1000	53
	1,500 ミリ秒	DLYGRD1500	53
ユーザー定義の読取り遅延	範囲 0-30,000	DLYGRD#####	54
マニュアルトリガーモード	マニュアルトリガー	PAPHHF	55
	明るい	PWRNOL50	55
	*とても明るい	PWRNOL150	55
センタリング	有効	DECWIN1	56
	*無効	DECWIN0	56
センタリングウィンドウ 上	*40%	DECTOP40	56
	範囲 0-100	DECTOP###	56
センタリングウィンドウ 下	*60%	DECBOT60	56
	範囲 0-100	DECBOT###	56
センタリングウィンドウ 左	*40%	DECLFT40	56
	範囲 0-100	DECLFT###	56
センタリングウィンドウ 右	*60%	DECRGT60	56

	範囲 0-100	DECRGT###	56
プレゼンテーションモード	プレゼンテーション	PAPPST	58
感度	*1	TRGPMS1	58
	範囲 0-20	TRGPMS##	58
センタリング	有効	PDCWIN1	59
	*無効	PDCWIN0	59
センタリングウィンドウ 上	*40%	PDCTOP40	59
	範囲 0-100	PDCTOP###	59
センタリングウィンドウ 下	*60%	PDCBOT60	59
	範囲 0-100	PDCBOT###	59
センタリングウィンドウ 左	*40%	PDCLFT40	59
	範囲 0-100	PDCLFT###	59
センタリングウィンドウ 右	*60%	PDCRGT60	59
	範囲 0-100	PDCRGT###	59
電子ディスプレイ読取りモード	マニュアルトリガー	PAPHHC	61
	プレゼンテーション	PAPPSC	61
ハンドフリータイムアウト	5,000 ミリ秒	TRGPTO5000	61
	範囲 0-300000	TRGPTO#####	61
二重読取り遅延	500 ミリ秒	DLYRRD500	62
	*750 ミリ秒	DLYRRD750	62
	1,000 ミリ秒	DLYRRD1000	62
	2,000 ミリ秒	DLYRRD2000	62
ユーザー定義の二重読取り遅延	範囲 0-30000	DLYRRD#####	62
「読取なし」メッセージ	有効	SHWNRD1	63
	*無効	SHWNRD0	63
反転バーコードの読取	反転のみ	VIDREV1	63
	反転自動検知	VIDREV2	63
	*反転無効	VIDREV0	63
読取り方向	*正面 0°	ROTATN0	64
	縦 時計回り 90°	ROTATN1	64
	上下逆 時計回り 180°	ROTATN2	64
	縦 時計回り 270°	ROTATN3	64
プリフィックス/サフィックス			
すべてのシンボルに CR サフィックスを追加する		VSUFCCR	67
プリフィックス	プリフィックス追加	PREBK2##	67
	1つのプリフィックスを消去	PRECL2	67
	全てのプリフィックスを消去	PRECA2	67
サフィックス	サフィックス追加	SUFBK2##	68
	1つのサフィックスを消去	SUFCL2	68
	全てのサフィックスを消去	SUFCA2	68
機能コード送信	*有効	RMVFNC0	68

	無効	RMVFNC1	68
文字間、機能間、データ間遅延			
文字間遅延	範囲 0-1000	DLYCHR####	69
ユーザー定義の文字間遅延	範囲 0-1000	DLYCRX####	70
	範囲 0-255	DLY_XX###	70
機能間遅延	範囲 0-1000	DLYFNC####	70
データ間遅延	範囲 0-1000	DLYMSG####	71
データ編集			
データ編集初期化		DFMDF3	72
データ編集入力		DFMBK3##	72
1つの編集フォーマットを消去		DFMCL3	74
全ての編集フォーマットを消去		DFMCA3	74
データフォーマッター	無効	DFM_EN0	78
	*有効	DFM_EN1	78
	有効&必須	DFM_EN2	78
基本/代替編集フォーマット	*基本	ALTFNM0	79
	代替 1	ALTFNM1	79
	代替 2	ALTFNM2	79
	代替 3	ALTFNM3	79
バーコードシンボル設定			
全てのシンボル	全シンボル 有効	ALLENA1	82
	全シンボル 無効	ALLENA0	82
Codabar (NW7)			83
初期化		CBRDFT	83
読取り	*有効	CBRENA1	83
	無効	CBRENA0	83
スタート/ストップ文字	送信する	CBRSSX1	83
	*送信しない	CBRSSX0	83
チェックデジット	*検査しない	CBRCK20	84
	検査するが送信しない	CBRCK21	84
	検査し送信する	CBRCK22	84
シンボル連結	有効	CBRCCT1	85
	*無効	CBRCCT0	85
	必須	CBRCCT2	85
連結タイムアウト	*800	DLYCCT800	85
	範囲 0-4000	DLYCCT####	85
可読最小桁数	*4	CBRMIN4	86
	範囲 2-60	CBRMIN##	86
可読最大桁数	*60	CBRMAX60	86
	範囲 2-60	CBRMAX##	86
Code 39			87
初期化		C39DFT	87
読取り	*有効	C39ENA1	87

	無効	C39ENA0	87
スタート/ストップ文字	送信する	C39SSX1	87
	*送信しない	C39SSX0	87
チェックデジット	*検査しない	C39CK20	88
	検査するが送信しない	C39CK21	88
	検査し送信する	C39CK22	88
可読最小桁数	*0	C39MIN0	88
	範囲 0-48	C39MIN##	88
可読最大桁数	*48	C39MAX48	88
	範囲 0-48	C39MAX##	88
シンボル連結	有効	C39APP1	89
	*無効	C39APP0	89
フル ASCII	有効	C39ASC1	90
	*無効	C39ASC0	90
Interleaved 2 of 5 (ITF)			91
初期化		I25DFT	91
読取り	*有効	I25ENA1	91
	無効	I25ENA0	91
チェックデジット	*検査しない	I25CK20	92
	検査するが送信しない	I25CK21	92
	検査し送信する	I25CK22	92
可読最小桁数	*4	I25MIN4	92
	範囲 2-80	I25MIN##	92
可読最大桁数	*80	I25MAX80	92
	範囲 2-80	I25MAX##	92
NEC 2 of 5 (COOP 2 of 5 または生協コード)			93
初期化		N25DFT	93
読取り	*有効	N25ENA1	93
	無効	N25ENA0	93
チェックデジット	*検査しない	N25CK20	94
	検査するが送信しない	N25CK21	94
	検査し送信する	N25CK22	94
可読最小桁数	*4	N25MIN4	94
	範囲 2-80	N25MIN##	94
可読最大桁数	*80	N25MAX80	94
	範囲 2-80	N25MAX##	94
Code 93			95
初期化		C93DFT	95
読取り	*有効	C93ENA1	95
	無効	C93ENA0	95
可読最小桁数	*0	C93MIN0	95
	範囲 0-80	C93MIN##	95
可読最大桁数	*80	C93MAX80	95

	範囲 0-80	C93MAX##	95
シンボル連結	有効	C93APP1	96
	*無効	C93APP0	96
Industrial 2 of 5			97
初期化		R25DFT	97
読取り	有効	R25ENA1	97
	*無効	R25ENA0	97
可読最小桁数	*4	R25MIN4	97
	範囲 1-48	R25MIN##	97
可読最大桁数	*48	R25MAX48	97
	範囲 1-48	R25MAX##	97
IATA 2 of 5			98
初期化		A25DFT	98
読取り	有効	A25ENA1	98
	*無効	A25ENA0	98
可読最小桁数	*4	A25MIN4	98
	範囲 1-48	A25MIN##	98
可読最大桁数	*48	A25MAX48	98
	範囲 1-48	A25MAX##	98
Matrix 2 of 5			99
初期化		X25DFT	99
読取り	有効	X25ENA1	99
	*無効	X25ENA0	99
可読最小桁数	*4	X25MIN4	99
	範囲 1-80	X25MIN##	99
可読最大桁数	*80	X25MAX	99
	範囲 1-80	X25MAX	99
Code 128			100
初期化		128DFT	100
読取り	*有効	128ENA1	100
	無効	128ENA0	100
可読最小桁数	*0	128MIN0	101
	範囲 0-80	128MIN##	101
可読最大桁数	*80	128MAX80	101
	範囲 0-80	128MAX##	101
シンボル連結	*有効	128APP1	101
	無効	128APP0	101
ISBT 128 シンボル連結	有効	ISBENA1	100
	*無効	ISBENA0	100
GS1-128			102
初期化		GS1DFT	102
読取り	*有効	GS1ENA1	102
	無効	GS1ENA0	102



可読最小桁数	*0	GS1MIN0	102
	範囲 0-80	GS1MIN##	102
可読最大桁数	*80	GS1MAX80	102
	範囲 0-80	GS1MAX##	102
UPC-A			103
初期化		UPADFT	103
読取り	*有効	UPAENA1	103
	無効	UPAENA0	103
チェックデジット	*送信する	UPACKX1	103
	送信しない	UPACKX0	103
ナンバーシステム	*送信する	UPANSX1	104
	送信しない	UPANSX0	104
アドオンコード	2 桁アドオン有効	UPAAD21	104
	*2 桁アドオン無効	UPAAD20	104
	5 桁アドオン有効	UPAAD51	104
	*5 桁アドオン無効	UPAAD50	104
アドオンコードの要求	要求する	UPAARQ1	105
	*要求しない	UPAARQ0	105
アドオンコードセパレータ	*有効	UPAADS1	105
	無効	UPAADS0	105
拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13	*無効	CPNENA0	106
	連結許可	CPNENA1	106
	連結必須	CPNENA2	106
クーポン GS1 DataBar 出力	*GS1 出力無効	CPNGS10	106
	GS1 出力有効	CPNGS11	106
UPC-E			107
初期化		UPEDFT	107
UPC-E0 読取り	*有効	UPEEN01	107
	無効	UPEEN00	107
UPC-E1 読取り	有効	UPEEN11	107
	*無効	UPEEN10	107
拡張	拡張する	UPEEXP1	108
	*拡張しない	UPEEXP0	108
チェックデジット	*送信する	UPECKX1	108
	送信しない	UPECKX0	108
ナンバーシステム	*送信する	UPENSX1	108
	送信しない	UPENSX0	108
アドオンコード	2 桁アドオン有効	UPEAD21	109
	*2 桁アドオン無効	UPEAD20	109
	5 桁アドオン有効	UPEAD51	109
	*5 桁アドオン無効	UPEAD50	109
アドオンコードの要求	要求する	UPEARQ1	109
	*要求しない	UPEARQ0	109

アドオンコードセパレータ	*有効	UPEADS1	110
	無効	UPEADS0	110
EAN/JAN-13			111
初期化		E13DFT	111
読取り	*有効	E13ENA1	111
	無効	E13ENA0	111
チェックデジット	*送信する	E13CKX1	111
	送信しない	E13CKX0	111
アドオンコード	2桁アドオン有効	E13AD21	112
	*2桁アドオン無効	E13AD20	112
	5桁アドオン有効	E13AD51	112
	*5桁アドオン無効	E13AD50	112
アドオンコードの要求	要求する	E13ARQ1	112
	*要求しない	E13ARQ0	112
アドオンコードセパレータ	*有効	E13ADS1	113
	無効	E13ADS0	113
ISBN 変換	有効	E13ISB1	113
	*無効	E13ISB0	113
EAN/JAN-8			114
初期化		EA8DFT	114
読取り	*有効	EA8ENA1	114
	無効	EA8ENA0	114
チェックデジット	*送信する	EA8CKX1	114
	送信しない	EA8CKX0	114
アドオンコード	2桁アドオン有効	EA8AD21	115
	*2桁アドオン無効	EA8AD20	115
	5桁アドオン有効	EA8AD51	115
	*5桁アドオン無効	EA8AD50	115
アドオンコードの要求	要求する	EA8ARQ1	115
	*要求しない	EA8ARQ0	115
アドオンコードセパレータ	*有効	EA8ADS1	116
	無効	EA8ADS0	116
MSI			117
初期化		MSIDFT	117
読取り	有効	MSIENA1	117
	*無効	MSIENA0	117
チェックデジット	*1桁 MOD10 検査するが送信しない	MSICHK0	118
	1桁 MOD10 検査し送信する	MSICHK1	118
	2桁 MOD10/10 検査するが送信しない	MSICHK2	118
	2桁 MOD10/10	MSICHK3	118

	検査し送信する		
	2桁 MOD10/11 検査するか送信しない	MSCHK4	118
	2桁 MOD10/11 検査し送信する	MSCHK5	118
	検査しない	MSCHK6	118
可読最小桁数	*4	MSMIN4	119
	範囲 4-48	MSMIN##	119
可読最大桁数	*48	MSMAX48	119
	範囲 4-48	MSMAX##	119
GS1 DataBar Ominidirectional			120
初期化		RSSDFT	120
読取り	*有効	RSENA1	120
	無効	RSENA0	120
GS1 DataBar Limited			121
初期化		RSLDFT	121
読取り	*有効	RSENA1	121
	無効	RSENA0	121
GS1 DataBar Expanded			122
初期化		RSEDFT	122
読取り	*有効	RSEENA1	122
	無効	RSEENA0	122
可読最小桁数	*4	RSEMIN4	122
	範囲 4-74	RSEMIN##	122
可読最大桁数	*74	RSEMAX74	122
	範囲 4-74	RSEMAX##	122
Codablock A			123
初期化		CBADFT	123
読取り	有効	CBAENA1	123
	*無効	CBAENA0	123
可読最小桁数	*1	CBAMIN1	123
	範囲 1-600	CBAMIN###	123
可読最大桁数	*600	CBAMAX600	123
	範囲 1-600	CBAMAX###	123
Codablock F			124
初期化		CBFDFT	124
読取り	有効	CBFENA1	124
	*無効	CBFENA0	124
可読最小桁数	*1	CBFMIN1	124
	範囲 1-2048	CBFMIN####	124
可読最大桁数	*2048	CBFMAX2048	124
	範囲 1-2048	CBFMAX####	124
PDF417			125

初期化		PDFDFT	125
読取り	*有効	PDFENA1	125
	無効	PDFENA0	125
可読最小桁数	*1	PDFMIN1	125
	範囲 1-2750	PDFMIN####	125
可読最大桁数	*2750	PDFMAX2750	125
	範囲 1-2750	PDFMAX####	125
マクロ PDF	*有効	PDFMAC1	126
	無効	PDFMAC0	126
MicroPDF417			127
初期化		MPDDFT	127
読取り	有効	MPDENA1	127
	*無効	MPDENA0	127
可読最小桁数	*1	MPDMIN1	127
	範囲 1-366	MPDMIN###	127
可読最大桁数	*366	MPDMAX366	127
	範囲 1-366	MPDMAX###	127
GS1 合成シンボル (CC-A、CC-B、CC-C)			128
読取り	有効	COMENA1	128
	*無効	COMENA0	128
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	128
	*無効	COMUPC0	128
可読最小桁数	*1	COMMIN1	129
	範囲 1-2435	COMMIN####	129
可読最大桁数	*2435	COMMAX2435	129
	範囲 1-2435	COMMAX####	129
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	130
	GS1 DataBar エミュレーション	EANEMU2	130
	GS1 コード拡張無効	EANEMU3	130
	EAN/JAN-8 を EAN/JAN-13 に変換	EANEMU4	130
	*GS1 エミュレーション無効	EANEMU0	130
TCIF Linked Code39 (TLC39) 読取り	有効	T39ENA1	131
	*無効	T39ENA0	131
QR コード			132
初期化		QRCDFT	132
読取り	*有効	QRCENA1	132
	無効	QRCENA0	132
可読最小桁数	*1	QRCMIN1	132
	範囲 1-7089	QRCMIN####	132

可読最大桁数	*7089	QRCMAX7089	132
	範囲 1-7089	QRCMAX####	132
シンボル連結	*有効	QRCAPP1	133
	無効	QRCAPP0	133
Data Matrix			134
初期化		IDMDFT	134
読取り	*有効	IDMENA1	134
	無効	IDMENA0	134
可読最小桁数	*1	IDMMIN1	134
	範囲 1-3116	IDMMIN####	134
可読最大桁数	*3116	IDMMAX3116	134
	範囲 1-3116	IDMMAX####	134
Aztec コード			135
初期化		AZTDFT	135
読取り	*有効	AZTENA1	135
	無効	AZTENA0	135
可読最小桁数	*1	AZTMIN1	135
	範囲 1-3832	AZTMIN####	135
可読最大桁数	*3832	AZTMAX3832	135
	範囲 1-3832	AZTMAX####	135
シンボル連結	*有効	AZTAPP1	136
	無効	AZTAPP0	136
Han Xin コード			137
初期化		HX_DFT	137
読取り	有効	HX_ENA1	137
	*無効	HX_ENA0	137
可読最小桁数	*1	HX_MIN1	137
	範囲 1-7833	HX_MIN####	137
可読最大桁数	*7833	HX_MAX7833	137
	範囲 1-7833	HX_MAX####	137
China Post (Hong Kong 2 of 5)			
初期化		CPCDFT	138
読取り	有効	CPCENA1	138
	*無効	CPCENA0	138
可読最小桁数	*4	CPCMIN4	138
	範囲 2-80	CPCMIN##	138
可読最大桁数	*80	CPCMAX80	138
	範囲 2-80	CPCMAX##	138
Korea Post			
初期化		KPCDFT	139
読取り	有効	KPCENA1	139
	*無効	KPCENA0	139
可読最小桁数	*4	KPCMIN4	139

	範囲 2-80	KPCMIN##	139
可読最大桁数	*48	KPCMAX48	139
	範囲 2-80	KPCMAX##	139
チェックデジット	送信する	KPCCHK1	140
	*送信しない	KPCCHK0	140

# 10. シンボルチャート

注 「m」は、AIM modifier character を表しています。AIM modifier character に関する詳細は、「International Technical Specification」の「Symbology Identifiers」を参照してください。

特定のシンボルのプリフィックス/サフィックスの入力は、汎用（全シンボル、99）入力より優先されます。

コード ID と AIM ID の使用に関する情報については、72 ページから始まる[データ編集](#)と 7265 ページから始まる[プリフィックス/サフィックス](#)を参照してください。

## 1 次元シンボル

シンボル	AIM		コード	
	ID	m	ID	16 進
全シンボル				99
Codabar	]Fm	0-1	a	61
Code 11	]H3		h	68
Code 128	]Cm	0、1、2、4	j	6A
Code 32 (PARAF)	]X0		<	3C
Code 39（フル ASCII をサポート）	]Am		b	62
TLC 39	]L2	0、1、3、4、 5、7	T	54
Code 93/93i	]Gm	0-9、A-Z、a-m	i	69
EAN/JAN	]Em	0、1、3、4	d	64
EAN/JAN-13（Bookland EAN を含む）	]E0		d	64
EAN/JAN-13 アドオン	]E3		d	64
拡張クーポンコード付き EAN-13	]E3		d	64
EAN/JAN-8	]E4		D	44
EAN/JAN-8 アドオン	]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar Omnidirectional	]em	0	y	79
GS1 DataBar Limited	]em		{	7B
GS1 DataBar Expanded	]em		}	7D
GS1-128	]C1		l	49
2 of 5				
China Post（Hong Kong 2 of 5）	]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5	]lm	0、1、3	e	65
Matrix 2 of 5	]X0		m	6D
NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）	]X0		Y	59
IATA 2 of 5	]Rm	0、1、3	f	66
Industrial 2 of 5	]S0		f	66

## シンボルチャート - 1 次元シンボル (続き)

シンボル	AIM		コード	
	ID	m	ID	16 進
MSI	]Mm	0、1	g	67
UPC		0、1、2、3、 8、9、A、B、C		
UPC-A	]E0		c	63
UPC-A アドオン	]E3		c	63
拡張クーポンコード付き UPC-A	]E3		c	63
UPC-E0	]E0		E	45
UPC-E アドオン	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45

コード ID				5C80
AIM ID				5C81
バックスラッシュ				5C5C

## 2 次元シンボル

シンボル	AIM		コード	
	ID	m	ID	16 進
全シンボル				99
Aztec コード	]zm	0-9、A-C	z	7A
Han Xin コード	]X0		H	48
Codablock A	]O6	0、1、4、5、6	V	56
Codablock F	]Om	0、1、4、5、6	q	71
Data Matrix	]dm	0-6	w	77
GS1	]em	0-3	y	79
GS1 合成シンボル	]em	0-3	y	79
GS1 DataBar Omnidirectional	]em	0-3	y	79
MaxiCode	]Um	0-3	x	78
PDF417	]Lm	0-2	r	72
MicroPDF417	]Lm	0-5	R	52
QR コード	]Qm	0-6	s	73
Micro QR コード	]Qm		s	73



## 郵便シンボル

シンボル	AIM		コード	
	ID	m	ID	16 進
全シンボル				99
Australian Post	JX0		A	41
British Post	JX0		B	42
Canadian Post	JX0		C	43
China Post	JX0		Q	51
InfoMail	JX0		,	2C
Intelligent Mail Bar Code	JX0		M	4D
日本郵便コード	JX0		J	4A
KIX (Netherlands) Post	JX0		K	4B
Korea Post	JX0		?	3F
Planet Code	JX0		L	4C
Postal-4i	JX0		N	4E
Postnet	JX0		P	50

## 11.ASCII 変換チャート (コードページ 1252)

キーボードアプリケーションでは、ASCII 制御文字は、以下に示すように、3つの異なる方法で表すことができます。「CTRL+X」機能は、OS とアプリケーションに依存します。以下の表は、いくつかの一般的に使用される Microsoft の機能を示しています。この表は、US スタイルキーボードに適用されます。いくつかの文字は、使用している国コードや PC の地域設定によって異なりますのでご注意ください。

印刷不能文字			キーボード「Ctrl」+ASCII モード	
10 進	16 進	文字	Ctrl+X モード オフ (KBDCAS0)	Ctrl+X モード オン (KBDCAS2)
0	00	NUL	予約	CTRL + @
1	01	SOH	Enter (テンキー)	CTRL + A
2	02	STX	Caps Lock	CTRL + B
3	03	ETX	Alt メーク	CTRL + C
4	04	EOT	Alt ブレーク	CTRL + D
5	05	ENQ	Ctrl メーク	CTRL + E
6	06	ACK	Ctrl ブレーク	CTRL + F
7	07	BEL	Enter / Return	CTRL + G
8	08	BS	(Apple メーク)←	CTRL + H
9	09	HT	Tab	CTRL + I
10	0A	LF	(Apple ブレーク)↓	CTRL + J
11	0B	VT	Tab	CTRL + K
12	0C	FF	Delete	CTRL + L
13	0D	CR	Enter / Return	CTRL + M
14	0E	SO	Insert	CTRL + N
15	0F	SI	Esc	CTRL + O
16	10	DLE	F11	CTRL + P
17	11	DC1	Home	CTRL + Q
18	12	DC2	PrtScn	CTRL + R
19	13	DC3	Backspace	CTRL + S
20	14	DC4	Back Tab	CTRL + T
21	15	NAK	F12	CTRL + U
22	16	SYN	F1	CTRL + V

印刷不能文字			キーボード「Ctrl」+ASCIIモード	
10 進	16 進	文字	Ctrl+X モード オフ (KBDCAS0)	Ctrl+X モード オン (KBDCAS2)
23	17	ETB	F2	CTRL + W
24	18	CAN	F3	CTRL + X
25	19	EM	F4	CTRL + Y
26	1A	SUB	F5	CTRL + Z
27	1B	ESC	F6	CTRL + [
28	1C	FS	F7	CTRL + \
29	1D	GS	F8	CTRL + ]
30	1E	RS	F9	CTRL + ^
31	1F	US	F10	CTRL + -
127	7F	DEL	DEL (テンキー)	

注 「メーク」は、キーを押っぱなしにします。「ブレイク」は、押っぱなしのキーを解放します。

印刷可能文字								
10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字
32	20	スペース	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	“	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	‘	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l

印刷可能文字（続き）								
10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_			

拡張 ASCII 文字								
10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字
128	80	€	171	AB	«	214	D6	Ö
129	81		172	AC	¬	215	D7	×
130	82	‘	173	AD	–	216	D8	Ø
131	83	ƒ	174	AE	®	217	D9	Ù
132	84	„	175	AF	˘	218	DA	Ú

拡張 ASCII 文字 (続き)								
10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字
133	85	…	176	B0	°	219	DB	Û
134	86	†	177	B1	±	220	DC	Ü
135	87	‡	178	B2	²	221	DD	Ý
136	88	ˆ	179	B3	³	222	DE	Þ
137	89	‰	180	B4	´	223	DF	ß
138	8A	Š	181	B5	μ	224	E0	à
139	8B	‹	182	B6	¶	225	E1	á
140	8C	Œ	183	B7	·	226	E2	â
141	8D		184	B8	¸	227	E3	ã
142	8E	Ž	185	B9	¹	228	E4	ä
143	8F		186	BA	º	229	E5	å
144	90		187	BB	»	230	E6	æ
145	91	‘	188	BC	¼	231	E7	ç
146	92	’	189	BD	½	232	E8	è
147	93	“	190	BE	¾	233	E9	é
148	94	”	191	BF	¿	234	EA	ê
149	95	•	192	C0	À	235	EB	ë
150	96	–	193	C1	Á	236	EC	ì
151	97	—	194	C2	Â	237	ED	í
152	98	˜	195	C3	Ã	238	EE	î
153	99	™	196	C4	Ä	239	EF	ï
154	9A	š	197	C5	Å	240	F0	ð
155	9B	›	198	C6	Æ	241	F1	ñ
156	9C	œ	199	C7	Ç	242	F2	ò
157	9D		200	C8	È	243	F3	ó
158	9E	ž	201	C9	É	244	F4	ô
159	9F	Ÿ	202	CA	Ê	245	F5	õ
160	A0		203	CB	Ë	246	F6	ö

拡張 ASCII 文字 (続き)								
10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字	10 進	16 進	文字
161	A1	¡	204	CC	ì	247	F7	÷
162	A2	¢	205	CD	í	248	F8	ø
163	A3	£	206	CE	î	249	F9	ù
164	A4	¤	207	CF	ï	250	FA	ú
165	A5	¥	208	D0	Ð	251	FB	û
166	A6	¦	209	D1	Ñ	252	FC	ü
167	A7	§	210	D2	Ò	253	FD	ý
168	A8	¨	211	D3	Ó	254	FE	þ
169	A9	©	212	D4	Ô	255	FF	ÿ
170	AA	ª	213	D5	Õ			

## 12.ISO 2022/ISO 646 文字コード変換

コードページは、文字コードのマッピングを文字に定義します。受信したデータが適切な文字を表示しない場合、スキャンされるバーコードが、ホストプログラムが期待しているものと異なるコードページを使用して作成されている可能性があります。この場合、バーコードが作成されたコードページを選択します。データは適切に表示されます。

国	規格	キーボード	コードページ
アメリカ（標準 ASCII）	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動文字変換	ISO/IEC 2022	n/a	2（標準値）
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
標準の「自動文字変換」では、Code 128、Code 39 および Code 93 については、以下のコードページオプションを選択します。			
アメリカ	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO/IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO/IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス	ISO/IEC 646-04	7	87
フランス	ISO/IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC 646-21	4	84
スイス	ISO/IEC 646-CH	6	86
スウェーデン/フィンランド （拡張 Annex C）	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO/IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

10 進数			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
16 進数			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	-
CN	92	99	#	¥	@	[	\	]	^	`	{		}	-
GB	7	87	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	´	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	..
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	..
図	ユー ニコード	ユー ニコード	ISO/IEC 646 文字コード変換											



# 13. プログラミングチャート



K0K

0



K1K

1



K2K

2



K3K

3



K4K

4



K5K

5



K6K

6



K7K

7



K8K

8



K9K

9



KAK

A



KBK

B



KCK

C



KDK

D



KEK

E



KFK

F



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄



RESET\_.

リセット